

岩倉のものづくり

OCUS
Business point of interest



自分のまちにどんな会社があるか
どんなものがつくられているのか
知ってますか？



教科書も知らない、大人の夢。

世の中にはたくさんの仕事があります。ものをつくったり、お客さんと接したり、事務をしたりでは、私たちが住んでいる岩倉市にはどのような仕事があるのでしょうか。この冊子では、「ものづくり」に注目して、岩倉市でものづくりをしている27事業所と4軒の農家などについて紹介しています。大人の夢がたくさん詰まっています。





ものづくり FOCUS 第2弾
(平成 28 年度ヒアリング実施)

機械・工業用品製造
03 日清工業 株式会社
04 愛国機械 株式会社
05 株式会社 エムズ
石油製品・石炭製品製造
06 三興石油工業 株式会社
紙加工品製造
07 藤徳紙器 株式会社
寝具製造業
08 株式会社 ニワユー
建築・建設業
09 株式会社 丹羽工務店
情報サービス業
10 ファルコン 株式会社
伝統産業
11 丸末呉服・染工房さくら
農 業
12 グリーンアカデミー岩倉
小売・卸売
13 株式会社 ヨーヨーカンパニー

ものづくり FOCUS 第1弾
(平成 26 年度ヒアリング実施)

窯業関係
15 石塚硝子 株式会社
16 坂本硝子工業 株式会社
17 有限会社 大原硝子店
油脂製造
18 ミヨシ油脂 株式会社
機械・工業用品製造
19 株式会社 アイワ
20 ボッカマシン 株式会社
21 有限会社 宮田鉄工
22 石黒工業所 株式会社
医療用品製造
23 オオサキメディカル 株式会社
24 有限会社 朝日義肢製作所
クラフト・アパレル
25 有限会社 ギターワークス
26 丹羽ベビー 株式会社
伝統産業
27 有限会社 旗屋中島屋代助商店
28 株式会社 中島屋幟店
29 有限会社 堀尾社寺住建
養鶏・卵加工
30 関戸養鶏人工孵化場
31 キューピータマゴ 株式会社
32 三州エッグ 株式会社
農 業
33 有限会社 井上政 / 田中進 / 丹羽司朗
基本情報
35 掲載事業所 所在地図
36 岩倉市産業基礎データ



にっしんこうぎょうかぶしがいいしゃ
日清工業株式会社

〒482-0031 岩倉市八剣町江迎 8 番地の 1
TEL: 0587-37-1245
<http://nisshin-industry.jp/index.htm>

■会社概要

1968 (昭和 43) 年に設立した、モーター用シャフト、機械部品の製造販売会社です。2017 (平成 29) 年 2 月は第 50 期の節目となります。

経営理念は「シャフト造りと機械加工を通じて社会に貢献しよう」。環境マネジメントシステム認証 ISO14000 と品質マネジメントシステム認証 ISO9000 を取得し、品質管理を大切にしています。地域とのつながりも重視し、毎月 1 回会社の周りの清掃活動を実施しています。



細く、長い、シャフトだけを作り続ける

扇風機や洗濯機などの家電機器、工場などにある産業用機械など、身の回りのあらゆるモノに「モーター」が使われています。そのモーターの軸（シャフト）を専門に作っている会社が岩倉市にあります。

月に製造するシャフトの種類は 300〜400 種類！

家電機器に使用される「汎用モーターの軸」も工作機用に使われる「産業用モーターの軸」も両方製造しています。かつては、汎用モーター軸が中心でしたが、家電機器の製造が海外へと進出する中で、20 年ぐらい前から、付加価値の高い産業用モーター軸へとシフトしてきました。今は産業用モーター軸が約 80% を占めています。産業用モーター軸の平均的な注文は 50〜100 個と少なく、「5 本、10 本作ってください」という注文が入ることもあります。少ない注文に対応するため、1 つの機械で 1 日に 5 種類の製品を製造することもあります。太さ 5〜130 ミリ、長さ 10〜800 ミリに対応でき、毎月 3000〜4000 種類の軸を製造しています。

納期が短く、難しい注文をいただくこともありますが、「困ったら日清」と頼っていただけの存在になるため、調整能力、交渉力を活かして対応しています。そのため、お客様とのコミュニケーションをとても大切にしています。

納入先は全国にあり、大手メーカーとも直接取引しています。うちの製品は工作機に使われることが多いため街で見か

けることは少ないですが、スーパーにあるレジのお札の自動吸取・排出部分のモーターや、ATM の紙幣を出し入れする機構部分に使われています。

品質維持のキーワードは「管理」

今、日本では、品質がよいのは当たり前です。その品質維持にあたっては、機械が維持するものと管理面で維持するものがあると考えています。

機械では、全ての機械にオプションで測定器を設置しており、品質を管理できる状態にしています。さらに、管理面では、測定器のブレによって研磨が不十分になる可能性もあるため、最終的には様々な加工工程で人が全数検査するルールを設けています。従業員には「技術」に加えて「品質に対する意識」が求められると思っています。

品質管理には職場環境を整えることも大切です。うちには 80 代の人もありますが、平均 38 歳ぐらいの若い会社です。賞与期には取締役専務が社員全員と面談を行い、現場の声を聞いています。丁寧で高品質な作業を行いながら、従業員にとっても働きやすい会社作りにも取り組んでいます。

「私自身が変わらないうち」と思った時に周りも変わってきたように思います。やりがいがあるかどうかは自分が決めるもの。想いを言葉に出して、やり遂げる覚悟で取り組むことが大切だと思います。」「板前からシャフト製造会社に転職し、日々勉強を重ねてこられた樋口専務。手応えを自信に、会社の更なる成長をめざします。」

工場の空気をきれいにする機械をつくる

金属加工系の工場は、加工機械から排出された細かなオイルミストや粉じんで汚れています。このオイルミストや粉じんを吸引・吸着し、工場全体の環境を保つ機械を作っている会社が岩倉市にあります。

金属加工工業↓金型製造↓工場内をきれいにする機械製造

最初は、金属部品の加工製造をしていました。その後、自動車分野の高度成長に合わせて自動車関係の部品をつくるための金型をつくるようになりましたが、自動車の製造を海外で行う企業が増えたため、当時、金型を納めていた企業からの要望を受けて、オイルミスト回収装置の開発をはじめました。

工場の美化について、以前は工場に大きな換気扇のようなものをつけて、汚れた空気をまとめて外に出す「全体集塵方式」が主流でした。しかし、これは暖冷房した空気も一緒に排出するため、エネルギー効率上、課題がありました。そこで生まれた発想が「局所集塵」です。これは、機械ごとに回収装置を設備し、直接汚れた空気を回収する方法で、工場全体のクリーン度もエネルギー効率も大きく向上させることが可能になりました。

試行錯誤を重ねて、自社だけの製品を開発する

うちのオイルミスト回収装置の特徴は、①集塵効率が高い。②維持管理がしやすい。③ランニングコスト（維持管理費用）が低い。の3点です。



まず、「Super」型はタバコの煙レベルまで回収できます。普通は、この性能を実現しようと思うと、集塵機と電気集塵機を2種類それぞれ装着することになりますが、お客様の要望もあり、コンパクトに一体化した製品を開発しました。集塵機と電気集塵機では、汚れた空気から粉じんやオイルを回収出来るスピードが異なるため、内部を通過する空気の風速をコントロールする巧妙な工夫を施しています。このタイプは、世界で2社しか製造していないと思います。

回収装置の内部に使用しているフィルターも、通常は定期交換が必要なものを使うことが多いですが、こちらは金属フィルターを使っています。定期的に洗浄すれば、半永久的に同じフィルターを使うことができるため、ランニングコストを抑えることができます。また、メンテナンスなどにはすぐに対応するようにしており、これもうちの重要な強みになっています。

「いつも何かを開発するときはお客さんの要望をどう実現するかを考え、『この商品で食べていくんだ』という強い意志で取り組んできた。ものづくりには作り上げたものに対する愛着や達成感・喜びがある。それに手に職をつければどこに行っても働ける。うちの若い子たちには、将来会社を立ち上げる気概で仕事に臨むように言っています。」これまで何度失敗してもやり抜いてきた山田社長。探究心は子どものままに、経験を重ねた重みはずっしりと感じました。

あいこく き かいがふしきがいしゃ
愛国機械株式会社

〒482-0041 岩倉市東町藤塚 77
TEL: 0587-37-0768
<http://www.aikokukikai.com/>

■会社概要

1977 (昭和 52) 年に設立した機械加工・製造会社です。東町の本社の他に、小牧工場、三ツ刈工場を構えています。それぞれ異なる製品を製造・加工しており、岩倉の本社ではオイルミスト回収装置を作っています。

社長の祖父は戦前に「愛国社」という会社を立ち上げ、脱穀機製造会社を営んでいました。最盛期は全国で5本の指に入るほど有名で、今の社名はその「愛国社」にちなんで名づけられました。

進化する素材と戦い続ける

かぶしがいしゃ え む ず
株式会社エムズ

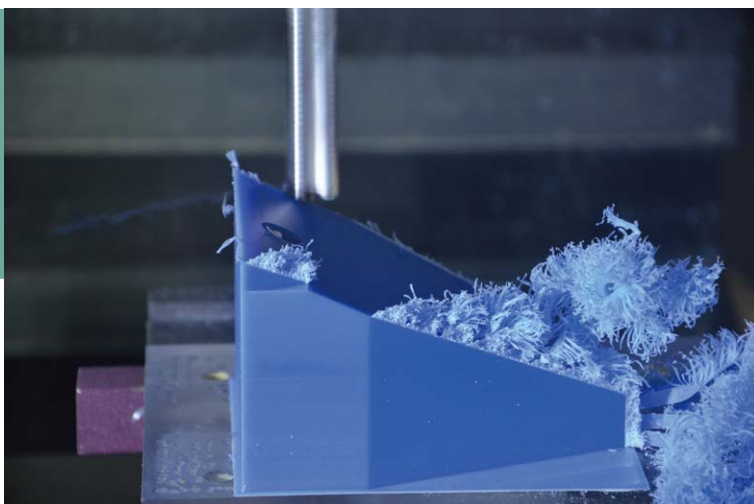
〒482-0005 岩倉市下本町天神塚 208
TEL: 0587-38-0407
<http://www.ms-cold.com/index.html>

■会社概要

2004 (平成 16) 年に設立した、合成樹脂の成形・加工及び販売会社です。

親会社は株式会社宮下製作所で、以前は宮下製作所の一部門として自動車部品の製造及び加工を行っていました。

その後、工場の移転に伴って静岡県に進出しましたが、社長が、生まれ育った岩倉市での事業も継続したいという郷土への想いから、現在の樹脂加工事業を開始しました。



「エンジンアリングプラスチック」という言葉を聞いたことがありますか。身近なもので言えば、プラスチック製の「まな板」の素材などがそれにあたります。強度が強く、耐熱性、耐摩耗性、耐油性、伝導性等の特定の機能を向上させたプラスチックです。そのエンジンアリングプラスチックの加工を行っている会社が岩倉市にあります。

対応する材料の種類は100種類以上！

仕事は、お客様から注文いただいた仕様（材料など）と図面に従って、素材を準備し、加工機械（NCマシン）に数値を入力（プログラミング）して加工します。いろいろな分野の製品を、少量単位で受注生産・加工していますが、納入は約1週間の短納期となるよう努力しており、この対応力は強みだと考えています。

ほとんどが特性部品で、自動車、航空機、食品などの製造・加工現場などで使われているため、一般の方の目に触れるような場所です。使用されていることは非常に少ないです。

エンジンアリングプラスチックは、特性の異なるたくさんの種類があることが特徴ですが、いづどんな材料の注文を受けるかわからないため、常時100種類以上の材料を揃えています。中には、少しの量で100万円以上するものもあります。市場の変化に対応するため、加工が難しい新しい素材にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。

作業者の感性で製品が変わる

昔は、切削工具を自分で開発したり、素材の形状に応じて機械や刃物を変えたり、いろいろなノウハウが必要でしたが、加工機械の精度が高まり、以前のような職人技的な面を活かせる部分は少なくなっています。

しかし、機械特性に合わせた微妙な数値調整や、加工手順の決定、機械の送り速度の設定、加工用の刃物の交換タイミングの違いなどによって、製品加工面などの仕上がりに違いが出てくることもあり、作業者の感性が製品の精度の重要な要素になっていると言えます。

量産現場を支える治工具

部品ではなく、量産工程での作業をやりやすくするための「治工具」というものの製作を依頼されることもあります。

現場には量産工程で監督者を担っていた社員もいるので、お客様のニーズや使い方を伺って、より使いやすい治工具を提案することもできます。0から考えて形になった時はやはり嬉しいものです。

「どこまで行っても、人だと思えます。トップの方針と、それを中間で指揮する人、そして作業する人、全ての歯車をかみ合わせながら、人を大事にしながら企業が発展できるようにする。会社は、やはり、人、なんです。」と宮下社長が語ってくれました。整理された工場内や気持ち良く対応してくださる社員の方々の姿勢が、その社長の言葉を体現されています。

さんこうせき ゆ こうぎょうかぶしきがいしゃ
三興石油工業株式会社

〒482-0026 岩倉市大地町上千8番地1

TEL: 0587-37-9881

<http://www.sanko-sekiyu-kogyo.co.jp/>

■会社概要

1973（昭和48）年に設立した石油製品製造販売会社です。主に自動車用や工業用・金属加工用のオイルを製造しています。大地町の工場群の中にあり、大きな赤いオイルタンクが目印です。

会社内に研究室・生産設備があり、成分分析や開発も行うことができます。ここで開発した環境に優しいチェーンソー用オイルは、エコマーク認定を取得しています。



エンジンオイルや工業用潤滑油をつくる

自動車のエンジンを円滑に機能させるために必要なエンジンオイル、ストーブの灯油、金属加工に必要な工業系潤滑油など、身の回りにはいろいろな石油製品があります。石油製品を製造するオイル専門メーカーは国内に30〜40社、愛知県内には数社ありますが、そのうちの一つが岩倉市にあります。

レーシングチームと一緒にエンジンオイルを開発！

エンジンオイルは、ガソリン用やディーゼルエンジン用、タクシーで使われるLPG用など様々な種類があります。ベースとなるオイルに様々な添加剤を調合してつくります。日本はアメリカ石油協会（API）が設定する規格を採用しており、その規格に合致しているかどうか判断基準となります。そのためエンジンオイルは差別化を図るのが非常に難しく、ブランド力が必要な製品です。中小規模の専門メーカーでは一般消費者に直接販売することは非常に少なく、主に修理工場向けに販売しています。

また、わが社ではレーシングチームとタイアップして自動車レース用のオイルを開発しています。そのような会社は専門メーカーの中でもそんなに多くはありません。

レースの場合は燃費よりもパワーを出すことが重要です。何度でも使える必要はありません。レーシングドライバーと相談しながら、調合、試走、調合、試走を繰り返す。

返し、オイルや添加剤の調合を決めます。最終的に調整した油は、色、粘度、引火点等を分析して記録します。このような細やかな試行錯誤は大手メーカーではできないので、わが社の強みでもあります。

企業の要望に応じて油を調合。注文の翌日に納品・発送！

車工場やネジ工場など、工場にはたくさんの機械が並びます。これらの産業機械を作動させる時には、機械の回転部分の摩擦を抑えたり、機器の冷却や防錆のために工業用潤滑油を使います。

1分間で加工できる部品個数が会社の存続をわける金属加工現場では潤滑油の役割は重要です。機械の回転数を上げることができるようオイルなど、お客さんごとの要望に応えたオイルづくりに取り組んでいます。製造業現場への女性の進出が進む中で「油臭くない油」をつくることも要求の一つになっています。

いずれも、全国どこであっても注文いただいた翌日に納品・発送できる体制を整えており、多品種小ロットに迅速に対応できる点も強みです。

「たくさん失敗しましたが、試行錯誤して要望に沿ったオイルをつくり、お客様に喜んでもらえた時は本当に嬉しかったです。ネットでも何でも調べられる時代ですが、試行錯誤を重ねて手に入れた『知恵』は簡単に手に入らないと思っています。」創業3年目に初の新卒採用として入社し、先代社長と奔走し続けた小野専務の目がいぶし銀のようにキラリと光りました。

商品のパッケージを企画する

ふじとくしきかぶしがいいしや
藤徳紙器株式会社

〒482-0026 岩倉市大地町野辺38
TEL: 0587-37-2181
http://www.fujitoku.co.jp/

■会社概要

1961(昭和36)年、名古屋市に設立したパッケージ及び各種包装用品・紙製品の企画製造販売会社です。

初期は、主に大手ガラス製品メーカー向けのパッケージを製造しており、業績拡大のため、1970(昭和45)年に岩倉市に移転しました。

1987(昭和62)年には、製造した紙器に商品を箱詰めするパッキングセンターも開設しました。



お店や観光地に並ぶお菓子やお土産、食器や食品が入っている箱など、身の回りには様々な紙の箱(化粧箱)があります。そのパッケージを企画・デザインし、製造販売している会社が岩倉市にあります。

時代の流れをよんで 観光土産のパッケージに着目！

当初は、贈答用の食器を入れるためのギフト箱をメインに製造していました。そのほかにも、引き出物やお中元・お歳暮などで使われる鯉節やコーヒーなどが入っている箱などを企画提案していました。しかし、時代の流れの中で、お中元・お歳暮文化が低迷し、引き出物も地味婚化、カタログ商品に移行する中で、どんな紙容器が使われるシーンが減ってしまいました。

そこで着目したのが「観光土産」です。温泉地や観光地に行くと、カラフルなパッケージの様々なお土産が並んでおり、その市場に企画力が活かされると考え、営業活動をした結果、お菓子メーカーやアミューズメント施設、関東・関西などの有名テーマパークなどにおいていただけるようなパッケージを企画・開発、製造するようになりました。

強みはシカン・変形箱に対応 できることと、企画力

うちの強みは「丸いシカン」が作れることです。これをアレンジして、変形シカン容器も製造しています。その他、動物の顔の形やキャラクターなどの形をし

た「変形箱」、バレンタイン・ホワイトデー向けのパッケージなども作っています。特殊なシカン容器をつくっている会社は、国内ではほとんどありません。

パッケージの型や素材などの企画アイディアは企画メンバーを中心にみんなで考えて進めています。

オリジナル商品を企画して 展示会でPR！

販促品として、招き猫の形をした容器や、戦国ブームに合わせた印籠の形をした容器、オリンピックブームに活用できるメダル型の容器、富士山の世界遺産登録を見据えた富士山型の容器など、様々なオリジナル商品を企画しています。

こうした商品は、口頭で説明しても伝わりにくい商品なので、東京で開催される展示会に出展し、商談を進めています。中にティッシュやメモ帳などを入れて、企業の販促物として利用いただくことが多いです。

これから日本は、2020年の東京オリンピックに向けて動き出すところなので、そこを狙った企画を考えたいと思っています。

「企画段階から携わった製品をテーマパークなどで売られているところを見ると、ものすごく達成感が得られます。今後は、紙以外の素材の製品も提案するなど、企画提案部門に力を入れていきたいと思っています。」藤徳紙器さんは、パッケージのトータル・コーディネートという新たなステージに挑戦されています。

かぶしがいいしやに わ ゆー
株式会社ニワユー

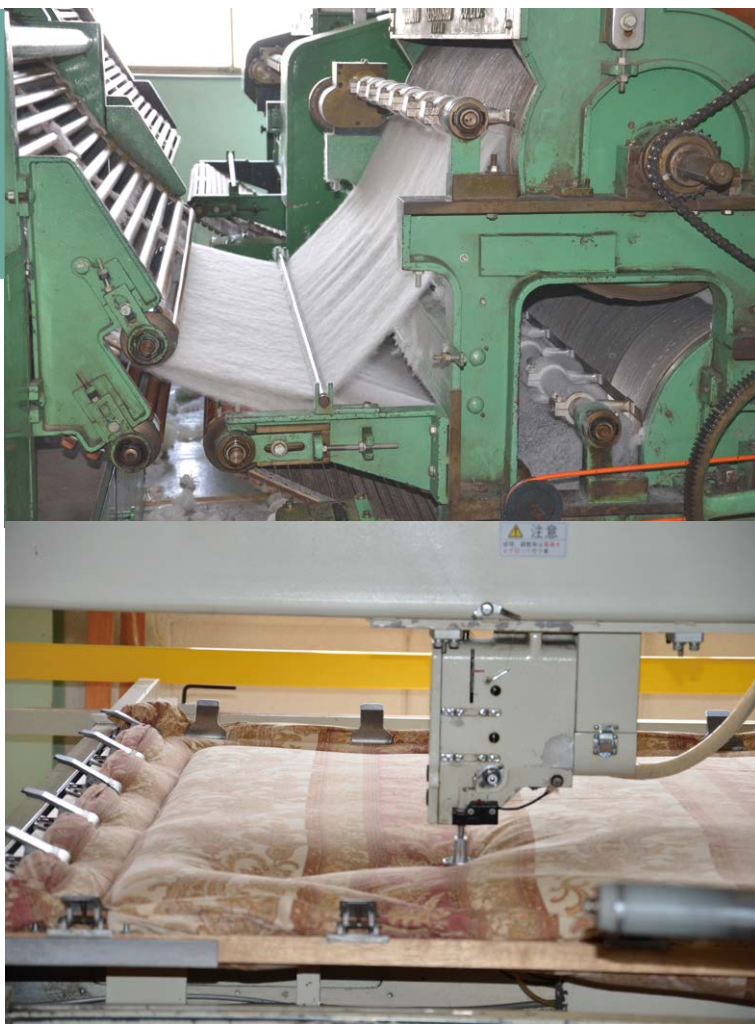
〒482-0033 岩倉市神野町 313-1
TEL: 0587-37-2277
http://www.niwa-yu.jp/

■会社概要

1960 (昭和 35) 年に、ふとんカバーの製造販売会社として創業しました。その後、まくらの製造・卸、リース事業をはじめ、1984 (昭和 59) 年に、製綿から仕立てまでの自社工場を整備し、ふとんの製造・卸をはじめました。

2005 (平成 16) 年には、抗菌・滅菌効果の高い光ギンテック処理工程を導入しました。ギンテックの販売・建物への施工も行っています。

ニワユー株式会社の目印は「星印」です。



心地よい睡眠を届ける寝具づくり

布団や寝具用カバー等を製造する「寝具製造業」は全国に544事業所（工業統計表・平成26年1月31日公表資料）あります。そのうちのひとつが岩倉市にあります。

1枚1枚要望に添えてつくる職人の技

今の主な事業内容は、寝具の製造事業とリース事業が半々の割合です。敷布団や掛布団、布団カバー、シーツなどを製造し、ホテルや旅館などに販売したり、寮や社宅、斎場（お通夜の際に利用する）にリースしています。

業務用やリース用の布団の製造は、自動綿入れ機を使って行いますが、個人の方から注文をいただいたときには、職人さんが綿を入れる昔ながらの製法でつくることもあります。

機械で作った布団はどうしても数か月程度で凹んでしましますが、職人さんがつくったものは長持ちします。1枚1枚手作りで行うと、中心部分は体重がかかりやすいので、中に入れる綿を厚くしたり、1枚、2枚の注文から対応できたりします。これは大手にはできない対応だと思っています。

布団は手入れをして長く使い続ける物

使い捨ての時代と言われていますが、昔は布団屋さんの多くは綿を打ち直す機械を持っており、布団がぺたんこになつてくると中の綿を出して、打ち直して使

い続けていました。最近は布団屋さんが機械を持っていないので、打ち直しの依頼が来ることもあります。ただ、注文は減っています。

機械製造と布団製造の関係

実は、今、製綿機のメーカーが国内に数社しかありません。かつては名古屋にも営業所がありましたが、撤退してしまつたため、今は、小さな修理は地元機械メーカーに部品を加工してもらっています。大きな修理には、東京から来ていただいています。機械のメンテナンス自体が難しくなっています。

抗菌効果の高い布団

布団のリース事業の中で、お客様から衛生面に対する要望があり、同じ岩倉市内のアスカテックさんが製造する「ギンテック」を布団の抗菌・滅菌に使っています。ギンテックは暗所でも効果があるため、押し入れ内など光が当たらない場所でも効果が期待できます。これも他社と差別化を図る強みです。

「柔らかい布団がいい人、硬い布団がいい人、人それぞれ。寝具にも好みがある。そのお客様の要望に添えて、試行錯誤した結果、『よく寝れた』『腰痛が治った』との感想をいただく時に、一番達成感を感じます。手づくりで布団をつくっている事業所は少ないので、この職人技があることを強みとして引き継いでいきたいと思っています。」先代から会社を引き継いだ丹羽社長は、厳しい寝具製造業界の中で自社の強みを活かして、じつくりと事業を営んでおられます。

かぶしがいしゃに わ こう む てん
株式会社丹羽工務店

〒482-0002 岩倉市大市場町郷廻 234 番地
TEL: 0587-66-0550
<http://www.niwakomuten.co.jp>

■会社概要

1948 (昭和 23) 年に創業した工務店です。当初は木造住宅が主でしたが、時代の流れの中で公共の仕事も増えてきました。

創業 50 周年時にはお客様 CB 会を設立。毎月、新商品の紹介や業界の中で話題になるような情報の提供、懇親会などのイベントを開催しています。

本社の他に、営業拠点として、岩倉店、北名古屋支店、春日井支店を構えています。



お客様と一緒に、家をつくる。

自分が住んでいる家は、誰が建ててくれたか知っていますか。

岩倉市には、家を建てようと思った時から建てた後のメンテナンスまで、しっかりと長く付き合ってくれる工務店があります。

設計、施工から維持管理まで一貫して請け負う体制づくり

個人住宅はもちろん、公共施設、工場、神社など、ご用命いただければ、積極的に取り組んでいます。何を建てるにしても、お客様と一緒につくる、ことを大切にしており、とにかくお客様の要望に応えたものを提案することを心がけています。

通常の工務店は、設計、施工管理など、いろいろな会社と役割分担をしながら建物を建てる会社も多いですが、弊社は設計、施工管理、維持管理まで、一貫して自社で請け負う体制を整えています。

さらに、もともと大工の棟梁がはじめた会社であり、今でも自社で大工を抱えていることも特長の一つです。建築は図面や仕様が同じでも、職さんの技量によって最終的な仕上がりが変わります。そのため、大工さんがいることの意味はとても大きいのです。

「お客様とのやり取りの中で完成型をイメージし、そのイメージを共有しながら図面にし、技術で形にする。」それぞれに関わる人が会社の中にいるので、おかしいなと思うことも解決しながら仕事が出来るのは強みだと思います。

10年後、15年後にわかる「良い仕事」をする

家は、建てた瞬間ではなく、10年、15年経った時に良い悪しがわかります。10年、15年後に良い状態を保つためには最初が肝心で、創業者理念の「良い仕事」を常に心がけています。

先日、弊社で30年ぐらいい前に新築で建てさせていただいたお宅をリフォームすることになり、家中を点検しましたが、細部に先代の職人たちの「良い仕事」を見ることができました。また、その家の屋根を支える棟木(むなぎ)の下、地棟(じむね)と呼ばれる材に、顔を見たこともない棟梁の名前を発見した時はとても感動しました。また、「良い仕事」は、お客様への対応についても同じです。社員とお客様とのコミュニケーションが上手く交わされていればこそ、お客様から次のお客様をご紹介いただける関係ができていくのだと思います。これからも社員とともに、未来に残る「良い仕事」をしていきたいと思っています。

「建築は本当に面白いです。自分で考えたプラン、インテリアあるいは、自分が監督した建物が、形になって目の前に誕生した時の感動。自分よりも長生きするかもしれない建物をつくるワクワク感、この仕事の醍醐味です。技術は身に付けてしまえば盗まれないし、一生使えるもの。ぜひものづくりが好きの人と一緒に働きたいと思います。」丹羽工務店さんは、謙虚に、地道に、大事にすべきものを守りながら、新しい事にも積極的にチャレンジされています。

ふあるこんかぶしがいいしゃ
ファルコン株式会社〒482-0025 岩倉市大地新町 3-75
TEL: 0587-65-5831
http://www.falconkk.co.jp/

■会社概要

1984（昭和 59）年に創業した、娯楽用ソフト、業務用システム、Web コンテンツなどの企画開発会社です。

その時々ニーズの変化に合わせて、パソコン、家庭用ゲーム機、業務用機器、携帯電話、スマートフォンなど、プラットフォームを選ばず制作しています。



形にならないものづくり

ゲーム機やパソコン、スマートフォンなどでゲームをしたことはありませんか。したことがない人はほんとういないのではないのでしょうか。そのゲームソフトを制作している会社が岩倉市にあります。

ゲームソフトをつくる仕事

創業以来、パソコンや家庭用ゲーム機、ゲームセンターなどの業務用機など様々な機器向けのゲームをつくってきました。遊び方やルールを考えるとところから始まり、キャラクターなどをデザインし、シナリオや問題などをつくって、音を付け、それらがコンピュータで動くようプログラムを書くまで、ゲームをつくる仕事には様々な種類があります。それらを、時には短期間に1人で、またある時には長い時間をかけて社外の人たちまで交えた大きなチームを組んでつくっていきます。

世界中にファンをもつ

老舗パズルゲーム「倉庫番」

看板ゲームは「倉庫番」というパズルゲームです。1982年に世に送り出されて以来、世界中の愛好家に親しまれている、広く知られたゲームです。

倉庫番の愛好家たちは、単にパズルを解いてスコアを競うだけでなく、自分たちで新たな問題を考え出し、解いて評価し合うなど、倉庫番の文化を育んできました。さらには、解法について数学的に研究して発表された論文までいくつも存在します。倉庫番の名前を知らなくても、他の社の著名なゲームに組み込まれているの

で、倉庫番パズルを知らないうちに解いている可能性もあります。

現在は、創始者や愛好家の方々と協力して、他社への版權許諾や自社での製品化を行っています。近年、自社で発売したシリーズ製品にはパソコン向けとスマホ向けがありますが、中でも、パソコン向けに発売した2製品が「ベクタープロレジ大賞」の「ゲーム・アミューズメント部門賞」を受賞しました。

ゲーム業界の変化

ゲームソフトはこれまで、ゲーム機やパソコン向けにディスクなどを販売する形で収益を上げてきました。しかし、スマホゲームが主流になる中で、基本無料で遊んでもらって有料アイテムを購入してもらったり、画面に掲載する広告料で収入を得たり、月々決まった額でサービスを提供する購読形式などに変化しています。これからも変わり続ける環境の中で、お客様に価値のあるものを提供して、収益を上げていく方法を模索していかなければと思っています。

「ゲームソフトの制作は、何も無いところから価値を生み出す仕事です。実用的な価値は高くはないかも知れませんが、遊ぶ人の幸せや満足などにつながる素晴らしい仕事だと思っています。何かを作り出している時は幸せを感じます。私は好きなことを仕事にしているのでとても幸せです。」と伊藤専務は目を輝かせて語ってくれました。目には見えにくい存在かも知れませんが、現代の多くの人の息抜きのパートナーをつくり続けています。

岩倉市初の名古屋友禅 伝統工芸士

まるすえ ぞ ふく そめこうぼう
丸末呉服・染工房さくら

〒482-0026 岩倉市大地町郷前1番地
TEL: 0587-37-3031
<http://somekoubousakura.blog.jp/>

■会社概要

大地町にある呉服屋「丸末呉服」の娘桜井めぐみさんが呉服屋内に構える名古屋友禅の工房です。丸末呉服自体は50年前にお父さんが創業しました。ももとは店舗を持たずお客様のお宅を訪問して呉服を販売していましたが、近年、大地町に店舗を構えました。染工房さくらは10年ほど前から、同じビルの二階にありましたが、この度、三階の広い場所に移転しました。全国でも友禅師を抱える呉服屋さんは大変珍しいそうです。



「友禅」は、日本の代表的な染色方法の一つです。京友禅、加賀友禅、東京友禅等の種類がありますが、その一つ、名古屋友禅の技術を持つ友禅師が岩倉市にいます。

反物1枚3か月 一人で染め上げる名古屋友禅

友禅染について、白生地に下絵を描き、模様の輪郭を糸のように細い糊で縁取り、筆や刷毛で色をつける「糸目友禅技法」という方法自体は産地によってあまり変わりません。しかし、京友禅、加賀友禅は完全分業制で、下絵を描く人、糸目糊を引く人、柄に色を挿す人など各工程の職人さんがいるのに対して、名古屋友禅はデザインから染めまで一人でほとんどの工程を行います。私は一人で染めているので、総柄の着物を1枚染めるのに約3か月かかります。大変ですが、思い描いた着物を全工程を通して表現できることはすごく恵まれていると思います。

G1レースの優勝馬にかける レイを名古屋友禅染で作成

名古屋友禅黒紋付共同組合連合会という染めの組合があります。その組合事業の一環で、中京競馬場開設60周年を記念して、G1レースの優勝馬にかけるレイを、地場産業の名古屋友禅染でつくることになりました。コンペがあり、2015、2016年の2回採用いただきました。初年度は白地よりも2倍以上手間のかかる黒地にチャレンジして、とても喜んでいただきました。次回も頑張りたいと思います。

商売人の父との二人三脚

父は呉服屋、商売人です。若くして独立した時に、高級路線に切り替えました。商品をととても大切にすると、着物に流れる物語やお客様に合わせることをとても大切にします。例えば、お客様が飾つてあるものと同じ図案の着物がほしいとおっしゃっても、「お客様の体格や雰囲気によって、その方に合った図案に書き変えなさい。お客様に合わせて、よりよく、できる能力が無ければだめだ。」と叱られます。職人は、ときに自分の型にハマってしまふところがありますが、父のようにお客様と接している人から意見を言われると冷静になります。

昔と違って、着物は、枚数をたくさん持つ方が少なくなりました。お客様には、良いものを長く、いつ着ても感動してもらえるように心がけています。これから、商売人の父の考えや感性を持ったまま、職人でもありたいし、作家でもありたいと、欲張りなことを考えています。

「着物は手入れが大変。というイメージがありますが、そんなことはありません。着物の魅力とあわせて、着物の扱い方をもちと知ってもらい、身近なものにしていきたいと思っています。そして着物のことで何か困ったら丸末呉服。と言われるような呉服屋・友禅師になりたいと思っています。」そう語るめぐみさんは、岩倉総合高校での講演や、生涯学習講座の講師も積極的に受けておられます。その眼差しは熱く、エネルギーに満ち溢れています。

岩倉市で循環型農業を実現する

ぐりーんあかでみーいわくら
グリーンアカデミー岩倉

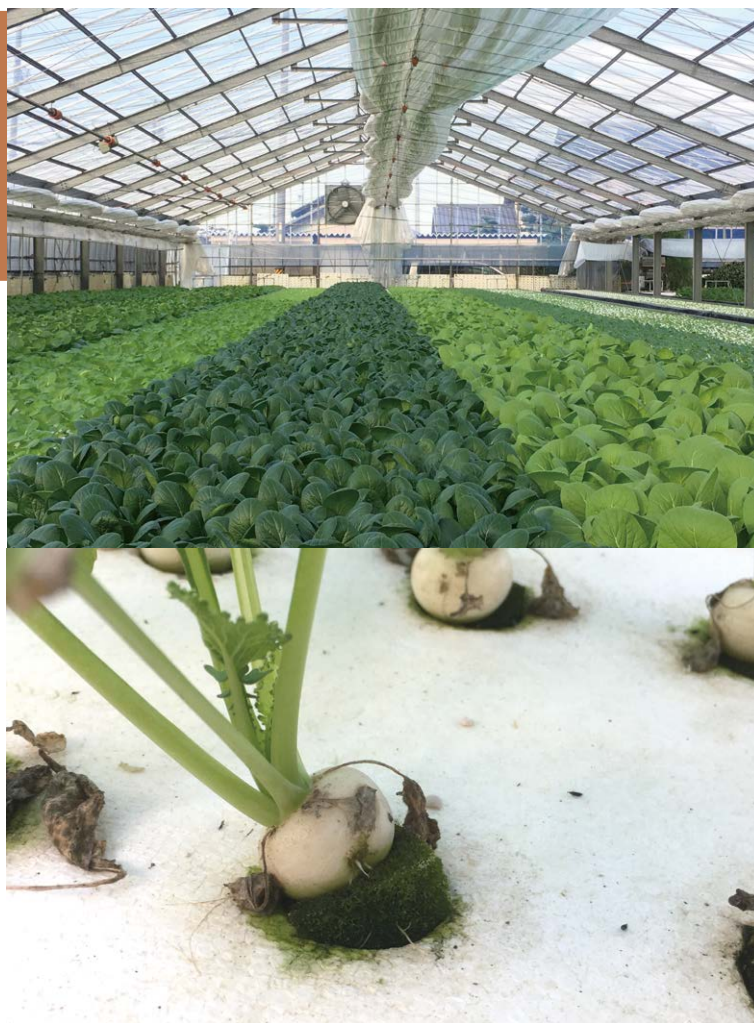
〒482-0035 岩倉市鈴井町蔵前 95-1
TEL: 0587-38-0433

■会社概要

1991（平成3）年に代表の父親が創業しました。今はビニールハウスを利用した施設野菜栽培が中心で、水耕栽培によって、ミツバや葉もの野菜などを生産しています。

そのほかにも、稲作や露地野菜栽培をしているとともに、養鶏部門としての名古屋コーチンも飼育しており、主に卵の販売もしています。

栽培の研究はもちろん、岩倉市で持続可能な農業のあり方も研究しています。



名古屋市内、某有名百貨店の野菜売り場にある「地場野菜コーナー」。そこに生産物を出品している農家が岩倉市にあります。

施設・露地野菜栽培、稲作、養鶏循環型農業を実現する

一般的な農業では、1品目を大量に生産するのが主流ですが、ここでは1年を通して多品目を栽培・収穫できる周年栽培に取り組んでおり、現在、水耕栽培で10品目程つくっています。

一番多く栽培しているのはミツバで、次に小松菜とハクサイ菜、そして葉を食べるタイプのダイコン菜やカブラ菜、加賀野菜の式部草、関西で食されることが多い大阪しる菜、他に春菊なども栽培しています。

水耕栽培の利点の一つに、土耕栽培のように土を休ませる期間が不要で、収穫後すぐに次の栽培に入れる点があります。早いサイクルで回転させることも可能なので、少量多品目の生産が実現できます。

稲作や畑での露地栽培のほかに、採卵のための名古屋コーチンも飼っています。現在70羽ほど、鶏が自由に動き回れる平飼いで飼育していますが、採れた卵は名鉄岩倉駅の改札前で開いている「野菜の広場」でのみ販売しています。「ここでしか買えないものをつくりたい」という思いから取り組みました。

名古屋コーチンの飼料として、ミツバなどの野菜の残りを加えたものを与えています。

いますし、鶏糞は露地栽培の土に肥料として循環利用しており、循環農業も意識しています。

試行錯誤を繰り返して想いを実現する

商品は、地元や周辺などのスーパーでも扱ってもらっています。出荷品目アイテムをもっと増やしたいと考えており、そのために、様々な野菜栽培に取り組み研究目的のハウスを建て、無理だと感じるものでも、とにかく作ってみるという挑戦を続けています。これまで、トマト、イチゴ、キュウリ、ナスなど、様々な野菜栽培システムを、作っては壊すを繰り返して研究してきました。社名の「グリーンアカデミー岩倉」にはそのような思いも込めています。

私は「地元で採れたものは地元の人に食べてもらいたい」と思っています。また、「生産から販売まで見届け、目に見える売り方をする」ということも大切にしています。そして、水耕栽培のメリットを活かし「平凡な野菜をお手頃価格でお客様にお届けする」ということを経営の目標として努力しています。

「若い人に伝えたいことは、必ず自分に合った仕事があるということ。作るのが好きなのか、作って販売するのが好きなのか。この地域であれば仕事は選び放題。好きなことをしてほしい。僕自身は『何でもつくる総合農園』をやりたいと考えて実践しています。」と語る桑山さんの目は、出荷台に並ぶ採れたて野菜のようにはみずみずしく輝いています。

かぶしがいしゃ よーよー かんぱにー
株式会社ヨーヨーカンパニー〒482-0005 岩倉市下本町天神塚 206-3
TEL: 0587-81-3924
<http://www.yoyocompany.jp/>

■会社概要

2010（平成22）年に創業。ヨーヨーを始め、関連グッズ、アパレルなどの企画・販売などを行っています。

三居（みい）社長はヨーヨープレイヤーであり、2000年の世界チャンピオンです。プレイヤーとしてだけではなく、運営面にも参画したいとアメリカに留学しました。その縁もあり、本社は岩倉市にありますが、アメリカにも出荷施設があります。最近、東京・渋谷にも出店しました。



ヨーヨーで世界をつなぐ、世界を広げる

岩倉市にヨーヨーの世界チャンピオンがいることを知っていましたか。今回は三居社長に選手としての話ではなく、商品としてのヨーヨーのこと、これからのビジョンのことなど、いろいろなお話を伺いました。

岩倉・国内でオリジナルのヨーヨーをつくりたい

ヨーヨーは、小さいものから大きいもの、プラスチックのものから金属製のものの種類があります。金額も、千円程度のものから5万円ぐらいするものまで様々です。うちでは世界各国のおよそ500種類のヨーヨーを扱っています。

現在、そのほとんどが中国で生産されています。ヨーヨーは比較的安価なものである割には精度が求められますし、経験が必要な作業もあります。例えば、「マッティング」という、ヨーヨーの本体部分のパーツを神経衰弱のように一つづつ組み合わせながら、ブレない組み合わせを確認する作業もその一つです。また、競技用等の金属製の物は、アルミ合金の中でも硬い素材を使うことが多いため、素材自体のコストが高く、切削の時間もかかることから、国内で製造するには失敗リスクが高いのです。

今は、岩倉市内をはじめ国内の射出成型可能なプラスチックメーカーや金属加工会社などと連携して、子どもたちにも手が届きやすい安価なヨーヨーをつくりたいと考えています。

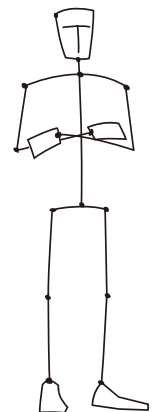
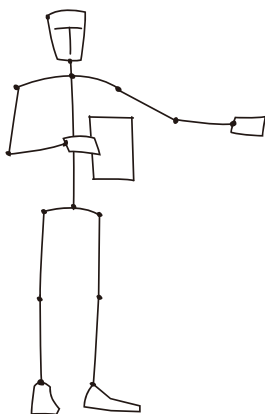
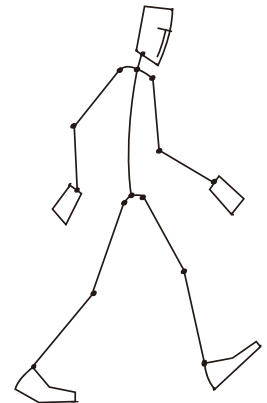
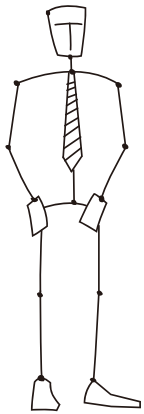
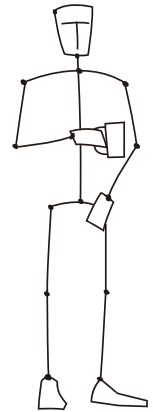
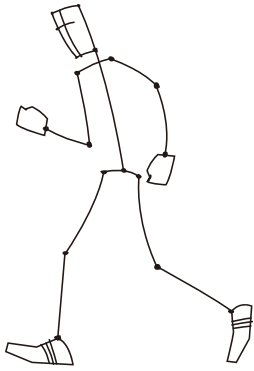
ヨーヨー業界全体のために

「ヨーヨーを楽しむ人を増やしたい」、「ヨーヨーで頑張っている子たちに、もっと活躍の場を増やしてあげたい」という想いを強く持っており、7年前に、一般社団法人日本ヨーヨー連盟を立ち上げ、代表理事を務めています。

連盟の活動として、テレビ番組にヨーヨーのパフォーマーとして出演したり、若者に人気のアパレルブランドと連携してコラボTシャツを制作したり、この店のためだけでなく、業界の発展につながればとの思いでいろいろと活動しています。

自分の夢を実現するために、無いもの、足りないものは一つ一つ作ってきました。大変なことたくさんありましたが、自分達で作ってきたという喜びを感じています。

「仕事は好きであることが重要。好きだから根気よく続けられるし、探求心も沸く。ただ最終的には好きだけではダメでスキルも必要。でも、例えそのスキルがなくても、すぐに諦めるのではなく喰らいついていく強さがほしい。好きなことを貫いてほしい。」と三居さんは話してくれました。三居さん自身もアメリカの大学に留学した当初、英語は苦手だったそうですが、いまや国際ヨーヨー連盟の運営や審査員会議の進行を務めているとのこと。会社の社長という立場だけではなく、業界の代表として三居さんの挑戦はまだまだ続きます。



岩倉のものづくり

OCUS
Business point of interest

ガラスを究め、超える容器をつくる

いしづか がらす かぶしがいしゃ
石塚硝子株式会社

〒482-8510 岩倉市川井町 1880
TEL: 0587-37-2111
http://www.ishizuka.co.jp/

■会社概要

1819(文政2)年に創業した総合容器メーカーです。ガラス製造からスタートしましたが、「ガラスを究め、ガラスを超える」を経営ビジョンに、ガラス容器、ガラス食器、プラスチック容器、紙容器、ペットボトル用プリフォーム等、容器分野で事業拡大を進め、総合容器メーカーとして発展しました。2013(平成25)年に「愛知ブランド企業」に認定されています。

岩倉市には1961(昭和36)年に工場を開設。食器事業への本格参入とびん事業の拡大の足掛かりとなりました。



ペットボトル用
プリフォーム



ガラス食器の製造で国内二番手、ガラスの新しい使い方を日夜研究・開発している企業が岩倉市にあります。

ガラス食器 ガラス容器を究める

現在、岩倉工場では主にガラス瓶やガラス食器を製造しています。ガラス瓶はドレッシングの瓶、牛乳瓶など、様々な製品を製造しており、本社の3階にある展示場にはスーパなどで見たことのある容器がたくさん並んでいます。特にビールをはじめとしたアルコール瓶は国内シェアナンバーワンを誇っています。

また、機械でガラス食器のみをつくらしている企業は国内に2社しかなく、ここはそのうちの1社で、その全てを岩倉工場で作っています。ガラスやお皿、調理用耐熱皿、保存用ガラス容器など、若い従業員の発想を活かしながら、新たな製品を開発・製造しています。

常にガラスや容器の 新たな世界を創造

アドバンストガラスはガラスの粉に銀などを混ぜた抗菌剤で、台所にあるまな板や三角コーナー、バスタブやトイレの便座、通勤電車のつり革などに使われています。

また、1972(昭和47)年にはプラスチック容器、1976(昭和51)年には紙パック、1996(平成8)年にはペットボトルのプリフォームと、ガラス以外の容器の製造を始めています。

「容器」は縁の下の力持ち

「容器」は中身があつてのもので、ジュースを飲む人が瓶やペットボトルの美しさで商品を選ぶことはないと思います。ないと困るものですが、意識はされない存在、縁の下の力持ち的な存在です。しかし、いつも身の回りにあるもの。消費者に届く最終的な製品を作っているため、ものづくりの実感がとてもわかりやすく、生活のあらゆる場で「これはここで作ったんだ」と言えることが自慢になっています。

「ガラスと言うのは見た目にすごく綺麗ですが、作っているのは想像できないくらい暑くて大変なところなんです。だから従業員には見た目でモノを判断しないことと言っています」

石塚硝子は心にも磨きをかけてものづくりに取り組んでいます。



ガラスをより美しく加工する

さかもと が ら す こうぎょうかぶしがいいしゃ
坂本硝子工業株式会社

〒482-0016 岩倉市野寄町高島19-1
TEL：0587-66-7811

■会社概要

1921(大正10)年に名古屋市で創業したガラス加工会社です。創業当時、名古屋は時計の一大産地で時計の部品を作る工場がたくさんありました。その中で掛け時計用のガラス加工を担当し、ピーク時は月間16万枚の掛け時計用のガラスを生産していました。

1966(昭和41)年に岩倉市に工場を新設し、現在は、ガラス食器などの2次加工や、ガラス製のトロフィー、置物などの加工をしています。



自社で新しいガラス加工手法や加工道具を創り出したり、海外から新しい技術や機械を導入するなど、業界で知らない人はいないガラス加工会社が岩倉市にあります。

ガラスをより美しく加工する職人の世界

ガラスの2次加工方法は主に5種類あります。板ガラスを切断したりする板ガラス加工、それから表面に研磨材を吹き付けてすりガラスにするサンドブラスト加工、転写紙を貼って絵柄を焼き付ける焼付加工、ガラスに薄い透明金属膜をコーティングして焼き付けるラスタ加工、ガラスの中にレーザーを当てて彫刻を施すレーザー加工です。

工業は様々な面で自動化が進んでいますが、ガラスの2次加工はすべてを自動化することは難しく、人間の手による加工が必要な職人の世界です。難しい特注品などは1日に100個〜200個しかつくれません。しかし、ここには長い歴史の中で装置・設備・治具などが揃っています。加工に関わる技術が積み重ねられ、引き継がれているため、ほとんどの2次加工を施すことが可能です。

常に技法開発、新しい加工法を導入

ガラスのサンドブラスト加工は2代目の社長が始めました。サンドブラストそのものは既に存在しており、板ガラスを

すりガラスにする装置はあったのですが、食器などに部分的に模様を入れたりする装置を独学で開発しました。昭和30年頃の話です。

最近では、ガラスブロックの中に立体像を浮かび上がらせるレーザー加工機をドイツから導入しました。これはレーザーで局所的に熱ストレスを加えてマイクロクラックを作り出し、その小さな「割れ」の集合体が白く立体像に見える加工です。この方法は、数値情報をコンピュータに入力して加工するNC加工となり、再現したい立体物の数値情報をどのように測定して入力するかにかかっています。この加工はガラス製トロフィーや置物などに活用されています。

そのほかにも切子を応用したものやチタン融着など様々な加工法を開発しています。



「常に新たなことに関心を寄せたり挑戦しないと我々が生きて行く道がないのではないかと思います。どうして?どうして?を繰り返す探究心が大切だと思います。」

終わりのない探究心が創業100周年を迎える坂本硝子工業を支えています。

ガラス瓶を復権する

ゆうげんがいしゃ おおはらがら す てん
有限会社 大原硝子店

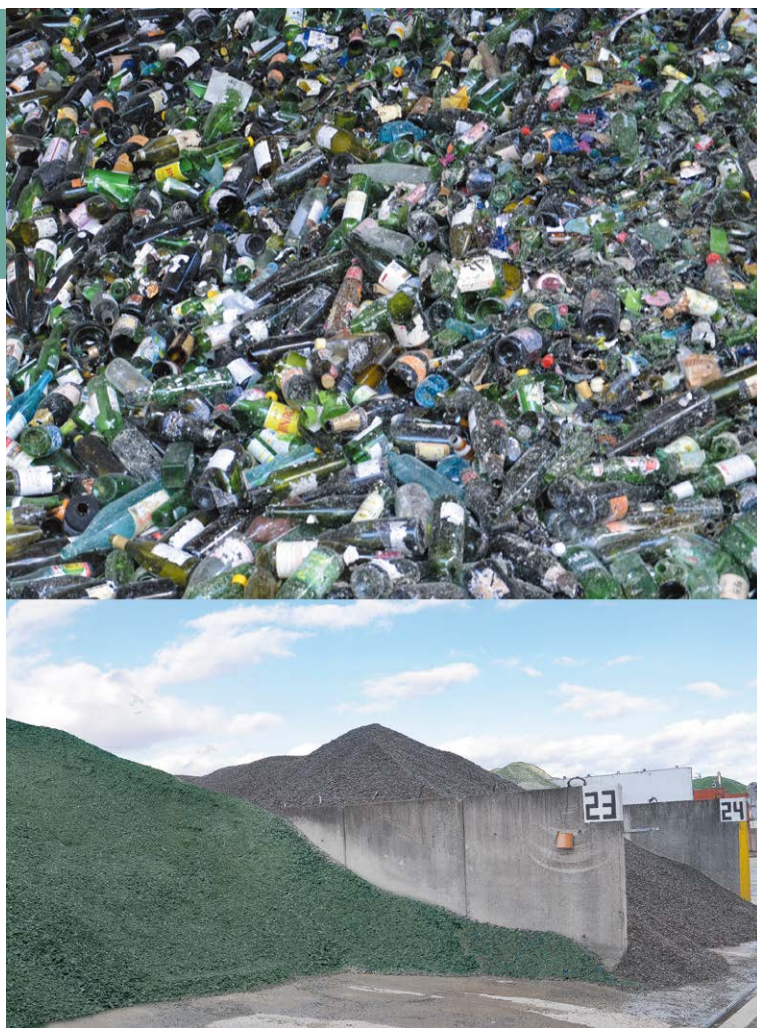
〒482-0017 岩倉市北島町中野田36
TEL: 0587-66-6451
http://www.ohara-glass.com

■会社概要

1946(昭和21)年、名古屋市で創業したガラス瓶やガラスのリサイクル会社です。戦後、焼野原の中、現在の専務の祖父が資源やガラス瓶類を回収していたのが始まりです。

現在は、使用済みのガラスを再びガラスの材料にして、製瓶メーカーなどに納品しています。また、その他再生資源の選別なども行っています。

1975(昭和50)年、岩倉工場を整備しました。



「カレット」とは使用済みのガラス瓶などを細かくフレック状にしたガラス片のことです。昨今、「3R(リデュース、リユース、リサイクル)」という言葉がよく使われ、環境に対する意識が高まっていますが、70年近く前からガラスのリサイクル事業に取り組んできた会社が岩倉市にあります。

愛知県内のガラス瓶は、ほとんどここに集合！

通常、ガラスはけい砂・ソーダ灰・石灰石などを原料とし、これらを1500℃に熱して作られます。しかし、実は溶けにくく、エネルギー効率も良くありません。一方、ガラスになったものを材料にすると1200℃で溶けるため、エネルギーの節約にもなり、値段も安くガラス瓶をつくるのできるのです。その材料が「カレット」です。

愛知県内の自治体から出されるガラス瓶の約90%が、無色・茶色・それ以外の3種に色分けされ、材料としてここに集まります。さらに中部圏や関東・関西からも回収します。それらを4cm以下のフレック状に加工し、主に地元の硝子会社にガラス瓶などの材料として納入します。

世界一のカレットの純度

カレットは純度が非常に重要であり、異物をいかに除去するかがポイントになります。紙ラベルは剥離する機械を使い、鉄は磁石で吸着し、陶器類はカメラで自

動識別してエアノズルで吹き飛ばします。こうした不純物除去技術の中には国内初のものもあり、機械を開発し特許を取得したものもあります。その結果、ここで作られるカレットの純度は99・999%レベルで世界トップクラスの純度です。工場内は独自のプラントを考案し、キュービック状の立体を巧みに利用した構造となっています。一日の生産量約350トンにものぼるカレットが、屋外のストックヤードにうず高く積み重ねられます。

ガラスが持つ力

一般的に軽さや利便性を重視する傾向があり、ガラス瓶の需要は以前に比べれば減少しています。しかし、内容物の品質維持が必要な場合はガラス瓶が利用されます。例えば、化粧品、薬品、調味料、日本酒、ワイン、ウイスキーなどには今後も使われるでしょう。さらに、環境負荷を低減する意味で軽量化されたガラス瓶なども市場に出ていたり、環境面からリターナブル瓶などとして利用されることも増えています。ガラスが持つ魅力が見直されています。

「ガラス瓶を復権するのが私の夢」大原専務の言葉は、現代において、何が大切かを問いかける重い言葉に聞こえました。効率や便利さだけではないガラスに魅せられた大人の夢が詰まっている会社です。

機械・身体・地球を磨く洗剤をつくる



みよしゆしかぶしがいいや
ミヨシ油脂株式会社
名古屋工場

〒482-8511 岩倉市野寄町西出 1-1
TEL: 0587-37-5111
http://www.miyoshi-yushi.co.jp

■会社概要

1921（大正 10）年に創業した繊維工業せっけんや繊維油剤の製造会社です。その後、マーガリンやホイップクリームなどの食品分野に進出し、現在は食品部門と油化部門の 2 部門を柱に事業を進めています。

岩倉市には、合成洗剤・化成品・食用油脂製造設備を建設し、1968（昭和 43）年に操業をはじめ、1989（平成元）年には油化技術センターを併設しました。

現在、化成品（香粧品原料、製紙/パルプ用薬剤、繊維用薬剤など）、環境産業商品（廃水用重金属処理剤など）の生産と、付加価値の高い化成品の研究開発に取り組んでいます。

化成品、環境産業製品という言葉を知っている方がいるでしょうか。あまり耳慣れない言葉かもしれませんが、私たちが日常で使っているものや工場で使用されるものの材料として、様々な用途で活用されています。その製造を行っている会社が岩倉市にあります。

化成品って何？

化成品とは、天然油脂や石油化学原料を使って作る界面活性剤などのことです。界面活性剤は水に溶けないものを水に溶けるようにするもので、たくさんの種類があります。それぞれの特性を利用して、シャンプーやリンス、化粧品、柔軟仕上げ剤、車や工場の機械などの洗浄剤として使われています。その他、紙パルプをやわらかくしたり、手触りをよくする効果を活用して、花粉症の時期に大活躍するやわらかいティッシュの材料にもなっています。

さらに、名古屋工場に併設されている油化技術センターでは、付加価値の高い化成品の研究開発に取り組んでいます。

環境を守る商品を開発・生産

各企業では水銀や鉛などの有害な金属物質も必要に応じて使用しています。ここでは、そこで出る排水などの中有害な物質を除去する薬剤も生産しています。廃水の中に入れて、有害物質を凝固・沈殿させて、回収し、上澄みを綺麗にして流すものです。

また、ゴミ焼却場で発生する有害な灰を廃棄場所に埋めた後、雨が降った時に酸性雨の影響などで重金属が溶けて流れ出すのを防ぐための商品や、汚染土壌の中に入っている有害金属を固める商品もあります。

これらの商品は物質を無害化するというよりは固定化するという考え方で、ほとんどを名古屋工場で作っています。

「この仕事は一般市民との接点がなく、企業イメージがわかりにくいと思います。しかし、ここで作られる製品は、私たちの身の回りの多くの製品の材料として活用されていて、それを見るときとても充実感があります。若い人たちにもこの気持ちを味わってもらいながら、新しい社会に対応した取り組みと一緒に進めていきたい」と語る工場長。

常に上を目指す学び合いの精神が、ミヨシ油脂には息づいています。



特殊なプラスチックで産業界を支える

かぶしきがいしゃ あ い わ
株式会社 アイワ

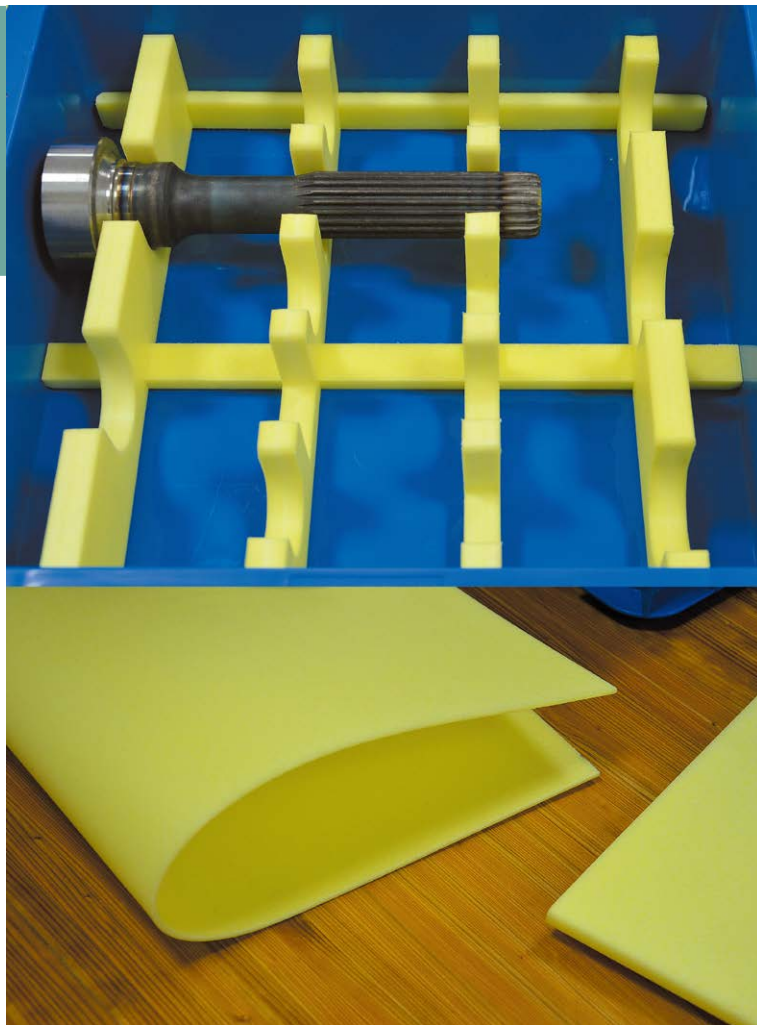
〒482-0032 岩倉市井上町種畑 20
TEL: 0587-37-8300
http://www.aiwa-wfn.co.jp

■ 会社概要

1977(昭和52)年に一宮市で創業したプラスチック製品を作っている会社です。岩倉市には1984(昭和59)年に移転しました。

「可能性の追求」を会社の基本理念に掲げ、創業から継続的に新たな商品開発・改良に果敢に挑戦しています。1996(平成8)年には科学技術庁長官「注目発明選定証」を受賞、2006(平成18)年には「愛知ブランド企業」に認定されています。

同じような業種の会社が海外に進出する中、国内生産にこだわりを持って製造している会社です。



「木のようなプラスチック」や「有機溶剤にも溶けにくいプラスチック」など特殊なプラスチックをつくっている会社が岩倉市にあります。

木のようなプラスチック!?

その名も「デュラウッド」と言います。プラスチックを2倍に発泡させたもので、通常のプラスチックより軽く、簡単に加工できるのが特徴です。例えば、のこぎりで切ったり、くぎを打ったり、ネジくぎでの接合も可能です。木のような特性を合わせ持つているため「合成木材」とも言われていますが、二つ折りにしても割れない剛性をもち、耐水性があり腐らないなど木材がもつ欠点をクリアした素材です。私たちの身近にある発泡スチロールはプラスチックを20〜50倍に発泡させたもので高発泡プラスチックと言いますが、それに対してこのデュラウッドは低発泡プラスチックと呼ばれています。

デュラウッドと車やアイスクリームの関係

デュラウッドは、自動車部品を工場から工場へと搬送するときの通函(かよいばこ)に、部品に傷がつかないよう保護するための緩衝材として活用されています。

通常、自動車のモデルチェンジは6年毎に行われるのですが、その間同じ部品を製造・運搬しますので通函の緩衝材も耐用性があることが望ましく、この製品はその要望に十分応えています。

また、結露しないという特徴をいかして、アイスクリームや魚などを運ぶ冷凍車や冷凍倉庫内の壁の緩衝用に利用されていたり、住宅のフローリングの下部の吸音・断熱材の固定にも使われています。常に研究と顧客からのニーズを把握しながら改良を続け、デュラウッドで38年間も商売を続けています。普段目にするのではない製品ですが、いつも乗っている車や食べている食品の運搬に欠かせない製品です。

「プラスチック産業」と携帯電話やおにぎりとの関係

もう一つ特徴的な製品として「アイフロン成形品」があります。この素材は薬品やシンナーなどの有機溶剤に強く、300℃の高温にも耐えます。携帯電話、スマートフォンなど、身の回りの多くの電化製品には半導体が使われていますが、このような半導体の製造工場の機械に使われています。また、食品業界向けのおにぎり加工用の「型」にも使われていますのでお昼に購入したおにぎりはこの型を使って作られているかもしれません。

会社を訪れた際、(株)アイワの玄関では、名前入りのウェルカムボードが招き入れてくれました。

創業当時から挑戦と改善を続けている(株)アイワ。来訪者への心配りにもその精神があらわれていました。近く創業40周年を迎えるアイワの挑戦はまだ続きます。

製造・物流機械を企画・設計する

ぽっかましんかぶしがいいしゃ
ポッカマシン株式会社

〒482-0015 岩倉市川井町浮田30
TEL: 0587-37-3137
http://www.mcpokka.co.jp

■会社概要

1966(昭和41)年にポッカレモン(株)の機械部として発足しました。1983(昭和58)年にポッカマシン(株)として独立し、2013(平成25)年のサッポロホールディングス(株)と(株)ポッカコーポレーションとの経営統合によりポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)のグループ会社となりました。

事業の主な内容は「人手による作業部分を自動化・機械化して、顧客の業務の効率化を図ること」で、一般的な工場の物流搬送設備を設計から製造、保守までを行っています。2007(平成19)年には「愛知ブランド企業」に認定されています。



ものづくりの現場で使われている様々な機械はどこで作られているのでしょうか。その会社の一つが岩倉市にあります。

製造・物流機械を製造する会社

「缶にラベルを貼る」「缶に飲料等を充填する」「商品を段ボールに詰める」「段ボール箱をロボットアームを使って積み上げる」「住宅建材を同じ寸法にカットする」など、ものづくりの現場には様々な工程があり、多くは機械で行われています。ここではそれらの機械の企画・設計・製造・保守の一連を行っています。

他社との差別化を図る熟練の技

注文を受けてから一台一台機械を設計する受注生産方式です。まず発注者と検討を重ね機械の企画設計を行います。その図面をもとに部品の図面を書き、外注企業でつくってもらいます。工場ですべての部品を組み立てて、うまく運転できることを確認後、パーツごとに解体し、再び現場で組み立てる、という流れです。

設計ファイルが盗まれても、図面を見ただけでは同じ性能の装置が製作できないくらい、図面に表現されない、表現できないノウハウを持っています。また、ベテラン従業員は、現場で機械音を聞いてだけで故障箇所が判断できると言います。これらのノウハウを生かし、機械や装置のコンパクト化や、物流搬送速度のスピードアップなどで他社との差別化を図っています。

将棋「電王戦」のロボットアームの製作にも参画

特殊なものとしては、他の企業と連携して、将棋「電王戦」というプロ棋士とコンピュータ将棋ソフトにより棋戦するイベントで登場した、ロボットアーム「電王手くん」の機械部分を製作しています。また、水平移動が不可能な従来型のヘリコプターを水平移動させるヘリコプター輸送システムは、ここでもしか製造していないオンリーワンの商品で、全国の都道府県警察に納品しています。

「一品一様の受注生産なので常に新しいことに挑戦できます。だから仕事は楽しいです。」これは創業者がよく口にした言葉です。

生産設備メーカーなので一般消費者に社名そのものが意識されることは多くありません。しかし、様々なものづくりの現場をこの会社の独自技術が支えています。



命を守る金物をつくる

ゆうげんがいしゃ みや た てっこう
有限会社 宮田鉄工

〒482-0035 岩倉市鈴井町蔵前 4
TEL: 0587-37-1569
http://www.taishin-shelter.co.jp/

■会社概要

1963(昭和38)年に創業した建築金物の製造加工会社です。

「たくさんの笑顔を守りたい! 常に考え、創造し挑戦する」をモットーに、品質の向上や木製部材の新しい接合構造と接続金物の開発に取り組んでいます。

最近、金物の開発・製造だけでなく、自社の製品をたくさんの人に使用してもらうため、商品の開発・販売にも取り組んでいます。



建物には、基礎と構造材の間や、構造材と構造材の間に「建築接合金物」が隠れており、強度が生み出されています。作業しやすく、建物の安全に効果的な建築金物を開発・製造する会社が岩倉市にあります。

苦境から生まれた金物

中国などからの輸入品が増え、国内の建築金物業が衰退しました。業界に所属する企業はかつて100社ぐらいありましたが、現在国内だけで事業展開しているのは数社程度です。これも非常に苦しい状態でした。

そこで輸入品と勝負するのではなく独自のものを開発しようと考えました。阪神淡路大震災以降、「命を守ることはたくさんさんの笑顔を守ることだ」と考えていたので耐震に有効な金物の開発に取り組みました。そして生まれたのが柱材を接合する「耐震タボパイプ」金物です。

命を守る耐震シェルター「剛建」

「耐震タボパイプ」金物は大学の協力を得て、強度・耐震性について有用な実験結果が出ていましたが、建物に利用した実績がないため、取り扱ってくれる業者がありません。しかし、実績をつくるために一軒の家を建てるのは容易ではなく、「この金物の強度を最大限に活かして実績をつくる方法」を考えていました。そこで考え付いたのが「耐震シェルター」でした。

これは、今住んでいる住宅の一室の中に、90度の木材と「耐震タボパイプ」金物で、より強固で安全な空間を確保するものです。

これまで住宅自体の耐震補強が進められてきましたが、高い費用がかかるためなかなか進んでいませんでした。高齢者だけで生活している住宅などではなおさらです。そこで、特に「古い住宅にお年寄りだけで住んでいて、お金をかけずに安全を確保したい方」を対象に、設置しやすい金額になるように建材メーカーの協力を得たり、補助金ができるように認定も取得しました。

「耐震タボパイプ」金物はハンマーを使わなくても木材と木材を接合することができますため、今後は耐震シェルターを応用した災害復興住宅の開発も考えています。

「自社製品を作ったことでクレームがここに来るようになった。クレームは製品の改善の貴重な意見だ」と語る宮田社長。宮田社長のものづくり魂はさらに熱く燃えています。



金属加工で製造業を支える

いしぐろうこうぎようしょ かぶしきがいしゃ
石黒工業所 株式会社

〒482-0041 岩倉市東町東市場屋敷 45-1
TEL : 0587-66-1141
http://www.ishiguro-ind.co.jp

■会社概要

1964(昭和39)年に創業した金属加工会社。経営理念は「人と企業と自然が調和した、活力とゆとりある社会の発展への貢献」です。また、環境理念を持ち、地球環境保全に十分配慮した企業活動に取り組んでいます。

主な取引先は国内販売向けに事業をしている企業で、大手企業との取引も多く、東海地域だけではなく九州や関東から受注しています。



岩倉市には、大手製造業メーカーが販売している自動販売機・印刷機器などの部品を製作している会社があります。

石黒工業所がつくっているもの

ここでは電気温水器や燃費機械・工作機械用のポンプの部品、様々な機械の部品になるナットやシャフト、特殊ホースの継手部分、エアガン用の先端アタッチメントなどをつくっています。身近な製品としては、歩道や駅のホームなどに設置してある視覚障害者用の点字ブロックに使われる突起部品「ステンレス」や、地球ごまの「軸」とこまを飾る「飾り台」も製作しています。

金属製品加工の専門家集団

金属加工で最もよく使われる機械に「旋盤(せんばん)」というものがあります。旋盤とは、円柱状の材料を回してそれに刃(バイト)を当てて削る工作機械で、これを使って真ちゅうやアルミ、ステンレスなどを加工し、金属部品をつくります。ここでは直径46mmぐらいの丸材から細いものまでかなり複雑な形に加工したり、材料を連続的に供給できる旋盤があります。

コンピューター制御の加工機「NC旋盤」では、図面から加工用の数値をコンピューターに入れるため、三角関数などの数学の知識も必要になります。

いずれの製品も多品種小ロットが基本で、1回で500〜1000個のものを

製作していることが多いため、毎日のように機械のセットを変更しています。そのため、スタッフの知識と能力が重要となります。

旋盤で特殊な加工をするためには専用の刃が必要になりますが、刃を刃物メーカーに依頼すると時間と費用がかかります。しかし、ここには刃そのものを作る技術を持った職人がいるので、短納期での生産を実現しています。



仕事は経営が重要 大切なのは信頼関係

日本の製造業を持続可能にするために、正当な金額で取引することを心がけています。どうしても折り合いがつかない時には「加工できない」と断ることもあります。また、堅実な経営を目指し、売上よりも利益率を常に考えて取引しています。これらを実現するためには客先との強い信頼関係が必要であり、「かけひき」のない本音の話し合いに努めています。

「夢と希望は大切ですが現実には甘くない。未来が楽になるように考えることが工夫につながります」石黒社長は等身大で、客先も自社も双方が事業継続できる道をひたむきに歩んでいます。

豊かな健康と医療を支える製品をつくる

お お さ き め て い か る か ぶ し き が い し ゃ
オオサキメディカル株式会社
岩倉工場

〒482-0017 岩倉市北島町白山 18
TEL: 0587-65-3800
http://www.osakimedical.co.jp/

■会社概要

1936（昭和11）年に名古屋市で創業した医療材料や看護・介護製品、産科・婦人科製品の製造販売会社です。岩倉市には2008（平成20）年に工場を建設し事業を開始しました。主に病院で使われる清浄綿や手術室の中で使う医療品を生産しています。

「心かようもの創りでより良い医療と介護を考えます」という理念のもと、豊かな健康生活を実現するものづくりを進めています。



「医療に関わる仕事」というとすぐに医者や看護師などをすぐにイメージしますが、「ものづくり」という形での医療への関わり方もあります。

出産から介護まで

一生に関わる医療製品を製造

岩倉工場では、人が産まれる前から産んだ後、そして人生を終えるまでの一生を通じて、医療現場で使用するものを中心に生産しています。特に、医療用の脱脂綿に消毒液をしみこませて滅菌した「清浄綿」の製造に関しては国内シェア約60%を占めています。

また、婦人科系の商品も多く、赤ちゃんを産むときに分娩室で使われる医療材料、産んだ後のケア用品、ベビー用品などを生産しています。2008（平成20）年にはママと赤ちゃんに贈るファーストブランドサイト「Dacco」を立ち上げ、助産師、ママ、女性の声を大切にした商品づくりを進めています。さらに、2014（平成26）年に高齢者系の「プラスハート」ブランドを立ち上げ介護施設で使われる用品の販売をはじめました。

医療機関にあわせた商品づくり

注文の多くは医療機関からです。しかし、「分娩時の医療キット」と言っても、ガーゼのサイズ・折り方・包装・小袋への挿入方向、商品キットとしての箱への挿入順序、向きなどの希望は医療機関によって異なります。そのため、医療機関

のオーダーに応じて商品番号をつけて多品種少量で生産しています。ここでは多くの工程は人手による作業が中心で、手順書や指図書などを整備し、誰でも間違いない作業できる仕組みを取り入れています。

ものづくりは人づくり

オオサキメディカルは工場長の意向に応じて工場ごとに独自の取組を行える社風があります。岩倉工場では工場長の「高度な品質を製造工程で作り込んで行くためには、従業員一人ひとりの高い品質意識・一定の技能レベルと労働意欲が必要」という考えのもと、パートを含めた全従業員に対する面談を年に2回実施しています。長いときは3時間にも及び、一巡するのに2カ月ばかりですが、職場の雰囲気が変わることによって、高品質の製品を作り上げ、生産目標も達成しています。

「会社に行くのが楽しくなるような職場、家族に自慢したくなる会社を目指しています」という工場長。

オオサキメディカル(株)岩倉工場は、一人ひとりの人生に寄り添ったより良い製品をつくるため、社員一人ひとりの人生に寄り添った職場づくりを進めています。

患者さんに寄り添って装具をつくる

ゆうげんがいしゃ あさ ひ ぎ し せい さく じょ
有限会社 朝日義肢製作所

〒482-0042 岩倉市中本町東葭原 5-7
TEL : 0587-66-6348

■会社概要

1984(昭和59)年に、他の義肢装具製作所で働いていた夫婦が、岩倉市本町で創業した義肢装具製作所。

主な業務は装具製作です。装具とは、事故や病気などで腕や足、体幹の機能に障害を負ったときに、その機能障害の軽減を目的として使用する補助器具のことを言います。現在、従業員は12名、そのうち国家資格である義肢装具士の資格保持者は6名います。



岩倉市には、けがをしたときなどに装着するコルセットやサポーターなどの装具をつくっている会社があります。

時代の変化に応じた装具づくり

社会環境の変化で症状や使用する装具が変化しています。

例えば、パソコン作業が多くなっているため、背骨の変形やヘルニア等の障害が出る人が増えていたり、路面環境の変化によって膝関節の変形という症状が多くなっています。

また、膝関節に障害がある場合、従来は膝にサポーターをすることが多かったのですが、最近は足の裏に傾斜のついた足底板(そくていばん)をあてがうことによって膝を矯正することが多くなりました。

装具づくりは時間との闘い

基本的には、契約している病院で、決まった曜日・時間帯に担当者が待機し、医師によって装具が必要と診察された場合に、患部の型をとり、寸法などを測定し、製作することになります。一般的には、営業と製作の担当者は別々なことが多いですが、ここでは一人が二役を担っています。

装具は治療が目的なので早く納入することも大きな使命です。骨折箇所の装具を製作する場合、通常、型を取ってから1週間程度かかるのが普通です。しかし、ここでは約4日間に対応します。

つけたくなるコルセットづくり

コルセットの装着は治療であるにもかかわらず、「面倒だ」、「恥ずかしい」というような理由で装着しない人が多いです。そこで、装着したくなるコルセットづくりに取り組んでいます。

コルセットは型取りして採寸した情報から、3パーツの布を用意し、それを縫製して作り込みます。この際、布はベージュや白・黒といった配色のものが標準的です。しかし、患者の意向に応じて、女性らしい花柄の布にしたり、黄と黒のスポートーナーな布にして、たとえ見えたとしても気にならないようなコルセットを作っています。

「早く治ってもらうために、どうしたらよいか」それだけを考えて工夫しています。

田畑桂子社長は「女性義肢装具士が珍しかった創業当時から30年間、やめずに続けてきてよかった」と話してくれました。患者さんが早く治ることを切に願う強く純粋な想い、そこに細やかなアイデアや心遣いが合わさり、朝日義肢製作所の患者さんに寄り添った装具づくりの精神が築かれています。



一つ一つオリジナルのギターをつくる

ゆうげんがいしゃ ギターワークス
有限会社 ギターワークス

〒482-0032 岩倉市井上町流 86
TEL: 0587-86-0583

■会社概要

(有) ギターワークスは、ギター製作やギターの修理を行っています。廣田和久さんは、専門学校卒業後、10年間ほど他社から発注を請け仕事をしていました。

しかし、一人ひとりの好みに合わせたギター作りがしたいと思い1992(平成4)年に創業しました。(有) ギターワークス独自のブランドも持っています。



「ルシアー(Luthier)」という言葉聞いたことはありませんか。ルシアーとは弦楽器製作家を意味し、大手楽器メーカーに属していないギターやバイオリンの個人製作家のことを言います。岩倉市井上町流(ながれ)にはルシアーがいます。

月に約百本のギターを修理

昨今は1人でギター製作や修理を営む工房が多いですが、ここは従業員が5人。東京から移住して働いている人もいます。仕事内容は、ギターの修理が90%、フルカスタムオーダーは10%ぐらいで、扱っているギターの種類はアコースティックからエレキやベースギターと幅広いです。修理は、有名楽器メーカーから依頼を受けており、その会社の西日本で受けたギターの修理を全てここでこなしています。月に百本ぐらいです。また、下取りした中古品を商品として販売するために修復する場合もあります。

フルカスタムオーダーは製作期間約3ヶ月

カスタムチューンと言われる、一人ひとりの好みに合わせたギター作りやアレンジを依頼されることもあります。また、フルカスタムオーダー品の製作期間は約3ヶ月で、材料費などを含めると1本あたり数十万円ぐらいの価格となります。世の中には、ギターにプレーヤーの名前を冠したシグネチャーモデルという

ものが販売されていますが、製作者またはチューナーの名前を冠したモデルもあります。ここでチューンナップしたギターに「廣田(HIROTA)」の名前を刻(こく)して納入した例もあります。

岩倉市の地名がついた、エレキギターブランドがある

工房がある地名「流」に由来して「NAGARE」という名前のエレキギターのブランドを持っています。その中に「37フレットのギター」があります。フレットというのは指で弦を押さえて音階を決めるギターネックにある部品のことです。通常は22か24フレットですが、NAGAREでは32や37フレットのギターも製作しています。12フレットで1オクターブ分の音域をカバーするため、37フレットの場合は3オクターブ分に相当しています。その他にもネック部分にフレットがない、バイオリンのようなフレットレスというタイプも製作できます。

プレーヤーの中には幅広い音域も表現したい人やフレットレスの音色にこだわりのある人がいて、ここはそうした願いに応えています。

有名楽器メーカーが修理を依頼していることは、絶大な信用があるからだと思います。「二人ひとりの好みに合わせたギターづくりがしたい」と創業した廣田さん。まだまだ夢は続きます。



洋服づくりをコーディネートする

にわべびー かぶしがいしゃ
丹羽ベビー 株式会社〒482-0033 岩倉市神野町平久田 73
TEL : 0587-66-1122
http://www.niwababy.jp/

■会社概要

1962(昭和37)年に岩倉市神野町で創業した洋服の製造会社。創業当時は「丹羽メリヤス」という名前で、取り扱っている商品はベビー肌着 100%でした。法人化の際に「丹羽ベビー」と改め、今は、ベビー服・子供服・婦人服などのアウターも製造しています。

すべて国内生産、高感度・高品質の製品づくりにこだわり、「きっちり、にっこり、感謝を込めて夢創り」を経営理念として、楽しく、誠心誠意をもって、日々感謝をしながら業務に取り組んでいます。



普段着ている服がどうやって作られているか知っていますか。岩倉市に有名ブランドの洋服を生産している会社があります。

洋服ができるまで

主な商品はベビーや子供服です。アパレル会社から委託を受けて生産するOEMが8〜9割で、残りは専門店の商品の生産です。

注文に応じてデザインを考え、パターンを作成し、裁断、縫製、仕上げ、検品を行います。

プリント・刺繍・縫製加工などは複数の国内協力工場に依頼していますが、生地の特性、加工工程、製品のグレード等によって、協力工場の組み合わせを変えて最適な生産ラインを組み立てます。

言ってみれば、たくさんある加工所のコーディネート機能を担当しています。パターンはCAD、裁断はCAMを導入する企業もありますが、縫製業は手作業が多く、最終的なアイロンでの仕上げや値札付け・検品に至るまでのほとんどの工程を人の手で丁寧に行っています。

細やかな対応、
質の高い製品づくり

国内のデパートや専門店向けの商品では、見栄えだけでなく着心地やフィット感など、より上質なものが求められます。それに応えるため、ここは、小規模の製造会社では珍しく、デザイナーとパタンナーを配置しています。パターンとは洋

服の型紙のことで、型紙をつくる人をパタンナーと言います。

アパレル側からパターンが送られてくることもあります。ここにはパタンナーがいるため、デザイン画を送るだけでパターンと洋服を作ってもらえるのです。また、送られてきたデザインやパターンがおかしい場合、修正を提案することができます。

生産拠点の海外移転が進んでいますが、デザイン、パターンへの対応、生地の違いに対するミシンの調整やアタッチメントの工夫など、日本の企業の細やかな気遣いは素晴らしく、商品の完成度は全く違います。

海外からの観光客なども日本製の製品を求めており、再び、国内生産の需要は高まっています。



「小学校3年生の時に、父親が商品のサンプルをいくつか持ってきて、どれがいいと聞かれたことがありました。販売した結果、自分の選んだものが一番売れたということを聞いて、とてもうれしかったのを今も覚えています。それがこの道に進むキッカケだったのかもしれない」と三輪専務は語ります。

子どもの頃のキッカケを一步步実現してきました。次の夢は自社製品の企画販売です。

子どもの成長を願い、鯉のぼりを染める

ゆうげんがいしゃ はた や なかしま や だいすけしょうてん
有限会社 旗屋中島屋代助商店

〒482-0042 岩倉市中本町中市場 31
TEL: 0587-37-0064
<http://www.somemonya.jp/>

■会社概要■

嘉永時代(1850年頃)から代々 松浦代助を世襲(せしゅう)する旗屋中島屋代助商店。

小学校に飾られている校旗や国旗、よさこいなどの時に着用する半纏(はんてん)、交通安全の手旗など、幅広く取り扱っていますが、特に手染めにこだわって幟(のぼり)を製作しています。

桜まつりの時には「のんびり洗い」の実演も行っています。



受け継がれてきた「染め」、「鯉のぼり」という文化を教えてください。

昔ながらの染め方を引き継ぐ

染めの方法はたくさんあります。用途や枚数などによって変えるのですが、基本となるのは鯉のぼりの染め方「印染め」です。染色関係の学校がありますが、「染め」の全般的なことは教えてくれない、印染めを教えてくれません。そのため、職人はここに入ってから学んでいくこととなります。松浦さんも染色関係の学校に行った後、24歳でここに入り、印染めのことは先代から学びました。

昔は材料の種類が限られましたが、染物は手間暇をかけた、本当に良いものがつくられていました。また、手染めはいつも同じ染め方をしても、できあがり微妙に違うため、世界に一つしかないという魅力と特別感があります。

鯉のぼりに込められた思い

鯉のぼりはその家に男の子が生まれたしるしです。浮世絵に見られる鯉のぼりは黒色のみの一匹で、また、黒や赤はあくまで「まごい・ひごい」を表すものでお父さんやお母さんを示しているわけではありませんでした。時代の流れの中で捉え方が変わってきました。矢車やふきなごしも後からついたものだそうです。

松浦さんは「庭に建てるだけが鯉のぼりではない。小さくても、玄関先に少し飾るだけでも良いので、親が子の健やかな成長を願うという鯉のぼり文化を絶やし

たくない」と、技だけではなく文化や風習も守り続けています。

鯉のぼりは、要望に応じて子どもの名前や家紋を入れたり、女の子用で配色を変える場合もあるそうです。

新しい挑戦 Tシャツや小物雑貨の製作

ここでは、のぼりのハギレなどを利用してポーチやトートバッグ、シュシュなどの小物づくりにも取り組んでいます。材料となるハギレは二つとして同じものがないため、小物はそれぞれオンリーワンの商品となります。

また、洋服製造会社と岩倉市のTシャツを製作しています。岩倉の産業振興に少しでも役に立てればと考えています。

「白い生地が染め上がって鯉のぼりになっていくのは小学校の図画工作のようで好きです。小さい頃から仕事場が遊び場でした。親から継げと言われたことはありません。いろいろ考えた時期もありましたが、最後はここだろうと思っていました」と語る松浦さん。

店の歴史に向き合い、日本の良き伝統をかたくなに守りながら、新しいことにも挑戦し続けています。



幟の文化と物語を守り、幟を染める

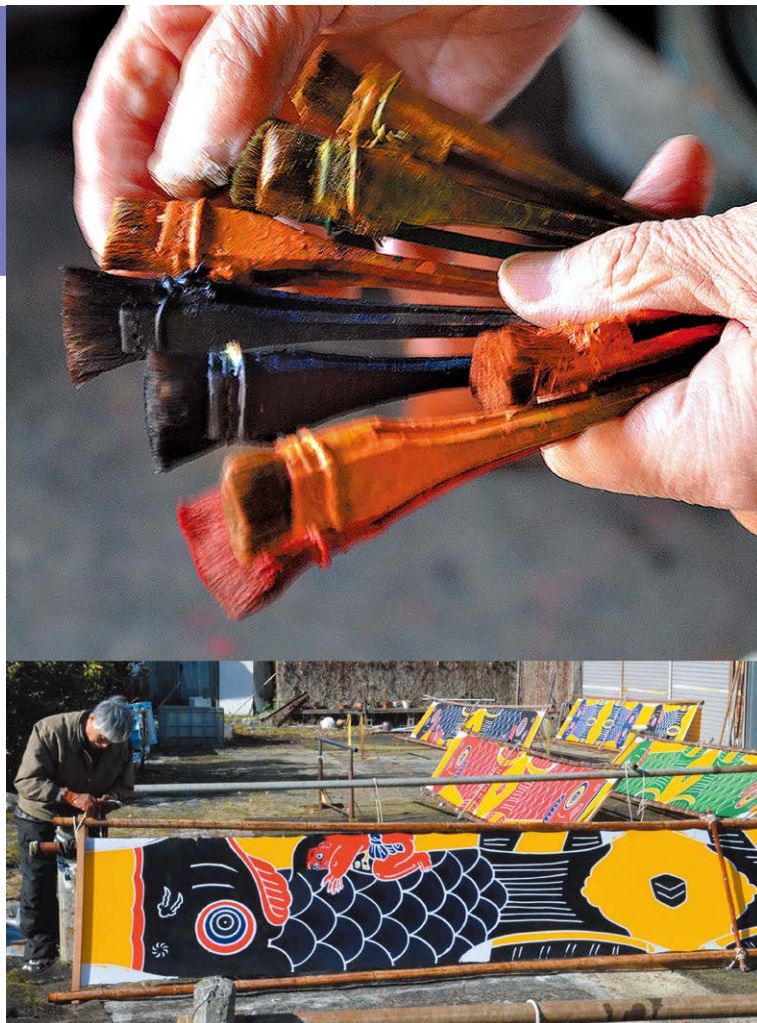
かぶしがいいしや なかしま や のぼりてん
株式会社 中島屋幟店

〒482-0042 岩倉市中本町中市場 26-1
TEL : 0587-37-0444

■会社概要

天正年間（1573～1592 年）に創業した 400 年以上の歴史がある幟（のぼり）店。現在の代表取締役 松浦 勉さんは 13 代目です。

主な製品は神社に飾られている幟、店舗向けの大売り出しの幟、横断幕、相撲幟（すものぼり）、鯉のぼり等で、遠くは山形県や広島県からも注文を受けています。



岩倉市の代名詞である五条川の「のぼり洗い」。中島屋幟店は、例年、大寒の時期と桜まつりの時に実演しています。

では、のぼり洗いは何をしているのか、その舞台裏をご存知でしょうか。

鯉のぼりづくり

まず生地に下絵を描きます。そして、色を付ける前に色と色の間の輪郭部分に「カップ」という治具を使って糊を塗り、縁取りをして、一気にハケで色を付けていきます。

染料が乾いた後、糊を取る作業になります。糊を柔らかくするために幟を川の水に浸します。この時、幟が水に流されないように杭を川底に打ち込み、紐で結びます。夏場で 2 時間、冬場では 3 時間ぐらいです。大寒の時は気温零下の中、早朝から幟を川に入れます。そして、糊がふやけた頃、包丁で糊を削り落とすのです。この工程がのぼり洗いです。

その後、きれいに洗い、乾かして、鯉の形に合わせて切り取り、最後に切りとった部分を鯉の背びれや胸びれとして縫製し、鯉のぼりが出来上がります。



色をつくる
いつまでも鮮やかさを保つ青

色をつける染料は、昔は大豆のつぶし汁から作ったのですが、今は顔料を使っています。赤は一色で、中間色は染料を調合して色合いを出します。色見本通りのものを再現するのは非常に難しく、お客さんには希望する色に近いもので納得してもらいます。

不思議なもので、色によって性質が違います。生地にもよりますが、青はいつまでも鮮やかさを保つそうです。

相撲幟の秘密

中島屋幟店の代表的な商品に相撲幟があります。相撲幟は部屋単位での注文になり、各部屋のファンがスポンサーとなつて幟を部屋に寄贈する仕組みになっています。1 回の注文本数はおよそ 10 ～ 15 本ぐらいで、名古屋場所がある時に注文が入ります。文字は下絵があり、それに基づいて描いていきます。

相撲幟は色に特徴があります。黒は黒星、茶は土の色で「土がつく＝負け」をイメージさせることから、両方とも相撲業界では嫌う色です。そのため、相撲幟では黒と茶色は使いません。業界の文化があるのです。

「洗い終わって濡れている時の幟の色は一段と鮮やかに見えるものだ」といふのは笑む勉さん。4 百年以上続く伝統、65 年間磨き続ける技、代々守り続けられている道具。大量生産ではない「ほんもの」がここにあります。

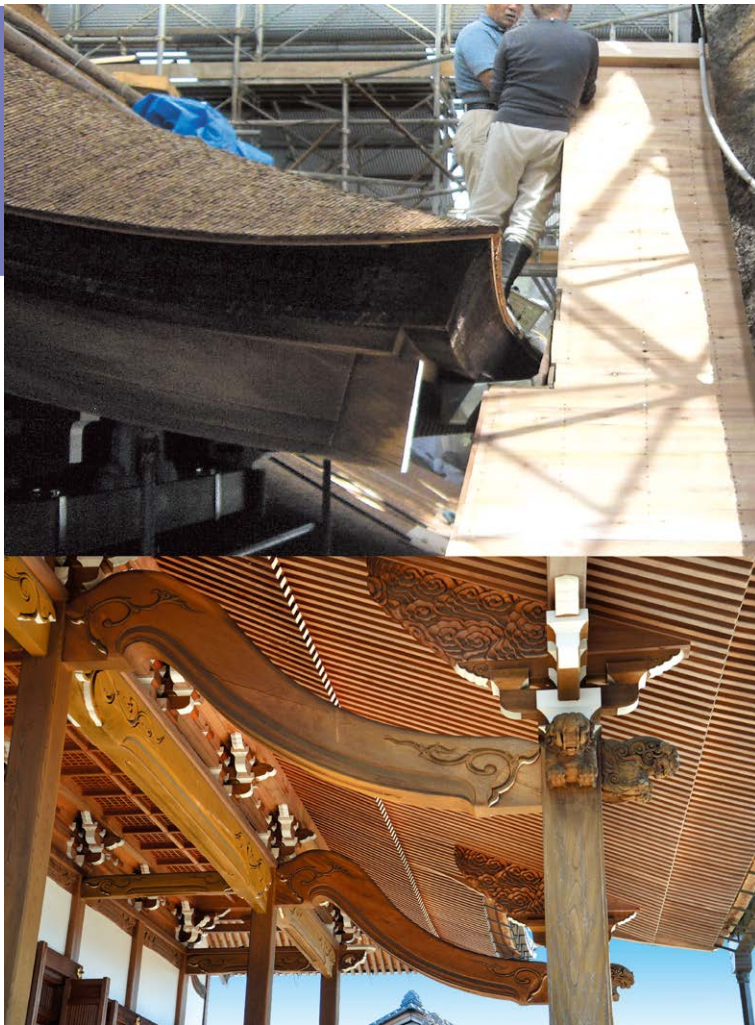
実用的で芸術的な社寺仏閣の世界を守る

ゆうげんがいしゃ ほり お しゃ じ じゅうけん
有限会社 堀尾社寺住建

〒482-0034 岩倉市石仏町京伝杖 2
TEL: 0587-37-0984

■会社概要

(有)堀尾社寺住建は1946(昭和21)年に現棟梁の実父が創業した宮大工の会社です。ただし現棟梁の堀尾さんは宮大工としては祖父、父と続く3代目になります。岩倉市内では五条川小学校の西側にある覚順寺や稲荷町にある浄正寺の建設、鈴井町の円通寺の修繕などに関わっています。また、神奈川県や山形県など全国各地の神社やお寺などの建設・修繕を行っています。



社寺仏閣の建築や補修に携わる大工を「宮大工(みやだいこう)」と呼びます。現在、日本に実在する宮大工の人数は百人以下とも言われていますが、岩倉市には宮大工の会社があります。

宮大工という仕事

神社の場合、神明社、春日社、出雲大社、天満宮など様式によって社(やしろ)の形が異なりますし、寺の場合は宗派によつて様式が異なりますが、宮大工はいろいろな様式に対応します。

仕事は、工場設計・材料の加工などを行い、現場で組み立てるというのが基本的な流れです。設計は間取りから始めます。床に敷いたベニア板に平面図、立面図、矩計図(かなばかりず)、部分詳細図などを原寸図で描いて「型」を表します。この作業が最も大変で、これらの図面ができれば半分はできたようなものです。

次に、使用する木材に尺図絵(しゃくずえ)を描き、これに基づいて材料を加工し、これらの部材を現場で組み立てていきます。昔は柱が多めで、引違い戸がその間にはめられる構造が多かったのですが、近年は耐震強度を上げるために壁が増える傾向にあります。変わらない様式の中で、細部には時代に応じた対応も求められています。

岩倉市覚順寺、名古屋城本丸御殿

五条川小学校の近くにある覚順寺は平成7年頃から5年がかりで建てたもので

100人ぐらいの職人が携わりました。それを取り仕切ったのが堀尾棟梁です。

最近では、2期工事の中の名古屋城本丸御殿の復元にも携わっています。また、山形大学の工学部の校舎の一つに、重要文化財に指定されているルネッサンス様式の見事な校舎があり、その修復にも携わりました。

建物の構造材であり、芸術品にも見える「海老虹梁」

宮大工は使う道具も特徴的です。現在は、電動工具と手道具を作業に応じて使っていますが、手道具は特注のものが多くです。金太郎が持っている「まさかり」や「ちような」もそうした類に入ります。ここにある「カンナ」は約50丁、「のみ」は約100本、全て違う種類です。

社寺建築に用いられる側柱と本柱をつなぐ海老のような形に湾曲した海老虹梁(えびこうりょう)という梁(はり)の種類があります。岩倉ゆかりの人が眺めると鯉のぼりみたいにも見えますが、先述の覚順寺にもありますので、ぜひ見に行ってみてください。それはもう芸術品です。

「原寸図を引いている時が一番楽しい」と語る堀尾棟梁。実父に師事できたのは7、8年の短い間。「もつと」一緒に仕事ができれば違っていたかも知れない。なかなか親父を超えることはできない。でも乗り越えたいと思っています」

堀尾棟梁の挑戦は続きます。



名古屋コーチンの伝統と歴史を守る



せき ど ようけいじん こう ふ か じょう
関戸養鶏人工孵化場

〒482-0036 岩倉市西市町無量寺 13

TEL : 0587-37-0369

■会社概要

関戸養鶏人工孵化場は、大正末期に、現在の代表関戸恒久さんの叔父さんが養鶏・ふ化を始めたのがきっかけです。

1965(昭和40)年頃からは日本の3大地鶏の一つ「名古屋コーチン」の養鶏をはじめました。愛知県内には名古屋コーチンのふ化場が4カ所ありますが、そのうちの1カ所です。無量寺に鶏舎、公会堂近くにふ化場があり、現在は家族4人で営んでいます。

愛知県には、我が国の養鶏業の発展に多大な貢献をした高橋広治氏の功績を記念し、養鶏分野で功績のあった方を表彰する「高橋養鶏賞」があり、恒久さんは2001(平成13)年に受賞しています。

名古屋コーチンは、江戸時代に愛知県で作出され、1905(明治38)年に日本家禽協会によって認定された鶏の品種です。ここでは名古屋コーチンのふ化、養鶏、ヒヨコ販売、採卵、鶏肉販売などを行っています。

ふ卵中は1日に4回、手動で転卵

毎月、愛知県の安城試験場から卵を入荷します。その卵をふ化させ、飼育用のヒヨコとして出荷したり、食肉用や採卵用に飼育しています。

卵は、おおよそ3週間で雛に孵(かえ)りますが、ふ卵中は一日に4回、午前6時、10時、午後4時、10時に公会堂近くのふ化場まで出かけ、手回しのハンドルで転卵(てんらん…卵の向きを変えること)します。ふ化の作業は全て恒久さんが担当しています。

名古屋コーチンを育てる時のポイント

鶏舎では15羽ぐらい入る広めのケージを使って200〜300羽育てています。鶏は病気にかかりやすいため、通常の品種は、狭い場所で大量に飼育する場合には薬をたくさん投与する必要があります。しかし、名古屋コーチンは生まれた時にワクチンを打ちますが80日を過ぎれば丈夫になります。さらに現在、ワクチンを使わずに8羽ほど飼っており、広めのスペースで飼えば薬などを何も与えなくて

も大丈夫だということを証明する研究もしています。食肉用としての雄は140日、雌は150日ぐらいで加工します。

雌の方が肉は柔らかく脂肪も多めなので「ひきすり(すき焼き)」に向いています。

雄は少し凶暴なところがありますが飼い主の顔は覚えていて、鶏舎内に恒久さんが入って行くと鶏の方から近寄ってきます。

ヒヨコは年間1万羽出荷

ヒヨコとしての出荷数は年間で約1万羽。注文客はそれを育てて、卵を採ったり食肉にしたり、愛玩用にしたりしています。ただし、最近は輸送を引き受けてくれる配送業者が減り、困っています。生きたまま輸送するとトラブルが起きる場合があるからです。

「味は絶対負けない自信がある。元気な限りはこの仕事を続けるし、伝統を守るだけだ」60年以上の長きにわたって養鶏に関わり、今も研究を続ける恒久さん。大量生産や効率重視の陰で忘れがちな、大切なものを守り続けています。



安全・安心な液卵をつくる

きゅーぴーたまご かぶしがいいしゃ
キューピーたまご株式会社
八劔工場

〒482-0031 岩倉市八劔町江迎 32-1
TEL: 0587-38-1510
http://www.kewpie-egg.co.jp

■会社概要

キューピーたまご(株)は1977(昭和52)年にキューピー(株)より独立した業務用たまご製品の製造販売会社です。全国18カ所に工場を持っており、岩倉市にある八劔工場はその一つで1997(平成9)年に事業を開始しました。

「安全」と「安心」をモットーとし、その実現のために製品の安全を確保する衛生管理手法のHACCPを導入したり、採卵された養鶏所から客先に納品されるまでの物流を把握するトレーサビリティ環境を確立するなど、様々な品質保証活動に取り組んでいます。

ちなみに、日本の業界全体としての鶏卵取扱量は年間で約250万トンであり、その10%をキューピーグループが取り扱っています。これは国内No.1の量です。



ファミレスやファストフード、コンビニなどにある菓子パン、クッキー、デザートなど、たまごを使った製品はまわりに溢れています。岩倉市にはその材料をつくらしている工場があります。

中部7県、50軒の養鶏農場から入荷

ここで生産した「液卵」は卵を使用した製品の材料として使われています。

液卵とは、割卵(かつらん)卵を割ることとして中身だけにしたもので、八劔工場では割卵してから、殺菌処理をしないですそのまま袋詰めしたもの、割卵後に溶き卵状態にし加熱殺菌処理をして出荷するものの2種類を製造しています。

割卵機を使って1分あたり600個の卵を処理しており、1日の卵の取扱量は約15トン、卵の数にすると約30万個にもなります。一つの養鶏農場から多くを仕入れられないため、中部7県を中心とした約50軒もの養鶏農場から入荷しています。

みなさんも食べています、きつと

製品は、主にお菓子やパンを製造する中部地区の業者に、加工用の原材料として納品しています。ここで生産される液卵加工製品は食品の原材料の一つであり、消費者がその加工業者を意識することはないと思います。しかし、コンビニやスーパーなどで見かけるあのパンやお菓子、デザートなど、あちらこちらで利用され

ており、多くの人が一度は口にしたことがあると思います。

日々、品質、味の向上を

よりおいしい製品を安全・安心に食べてもらうために、「あたりまえのことを、あたりまえに行なうことが大切」だと考え、日々、鮮度管理、食品安全へのためまね取組と、食感と品質の向上に取り組んでいます。品質管理については、統合型食品安全マネージメントシステムFSS C22000認証を2015(平成27)年度中に全工場が取得するよう進めています。

「自分達が工場で生産したものが様々な形になって食されたり使われたりしているのとてもやりがいを感じます。キューピーたまごが岩倉市にあることは知られてないと思いますが、より多くの人に知ってもらいたいと思います」と工場責任者は語ります。

創業50周年の節目の年に向けて、キューピーたまごは岩倉市での知名度も向上させていきます。



料理に彩りを添えるゆで卵をつくる



岩倉市には、コンビニや売店などで売っているゆで卵や温泉卵、また冷やし中華などの上につけているゆで卵などを生産をしている三州エッグ岩倉工場があります。

毎日約50万個の卵を加工

岩倉工場は、かつては割卵(かつらん)事業を行っていましたが、今は主にゆで卵、温泉卵を製造しています。卵使用量は一日で50万個、重さにして約25トン、単一の製品を作る工場としては日本一です。春から夏にかけてはコンビニなどで売られる麺類のお供として、秋から冬にかけてはおでん用としての需要があり、年間を通してのマーケットになっています。6～10月は繁忙期で24時間操業となります。

ゆで卵の秘密

ゆで卵は新鮮な卵ほど皮剥けがよいと言われます。原因は卵内の炭酸ガスです。そのため、あらかじめ炭酸ガスを抜く作業をします。また、見た目への配慮として、半切りにして使うものは卵黄が中央になるように、一方、半切りにしないものは外観の「艶つや」が出るように工夫して加工しています。また、関東は卵黄が赤みを帯びているものが好まれるなど、地域ごとの特徴もあります。

温泉卵は籠に卵を入れて加熱しますが、卵のサイズばらつきや籠内の温度分布も異なるため、さらに工夫が必要となります。

市場の変化やニーズに素早く対応

三州エッグはもともと鶏卵の販売を行っていました。昭和40年代に入り、外食産業が栄え、卵を材料とした商品の大量生産が始まったこと等を背景に、海外から割卵機を導入し、加工事業を始めました。また、卵サラダ用の材料やゆで卵の需要が高まった時は専用のラインを作りました。こうして、市場のニーズに素早く対応して大手のカステラメーカーやコンビニ、ラーメンや牛丼などの大手チェーン店との取引を進めてきました。

「2016(平成28)年度、関東に新しく佐野工場が操業します」と教えてくれました。

「FARM to TABLE」、農場から食卓までを合言葉に、安全・安心・おいしさを提供している三州食品グループが勢いに乗っています。



さんしゅう え っ く かぶしきがいしゃ
三州エッグ株式会社
岩倉工場

〒482-0031 岩倉市八劔町大門出先 28
TEL : 0587-66-2111
<http://www.sansyu-egg.co.jp>

■会社概要

三州エッグ(株)は1964(昭和39)年に創業した三州食品株式会社のグループ企業です。岩倉市では鶏卵の選別包装施設(GPセンター)と割卵工場を新設し、1970(昭和45)年から事業を開始しました。その後、市場のニーズに応じて工場の用途変換や整備を進めながら、2002(平成14)年には第三工場を増設しました。

三州食品(株)グループ企業は、育雛・養鶏から液卵加工、鶏卵加工、焼成生地加工まで、トータルな仕組みを基本とした事業に取り組んでおり、主力事業は液卵加工で、ゆで卵事業がそれに続きます。岩倉工場は主にゆで卵事業を担当しています。



岩倉の農業をつなぐ、 安全・安心・こだわりの農産物



岩倉市のカリフラワールの収穫量は全国的にみてもトップクラスです。また、大都市近郊でありながら田園風景があり、安心安全な農作物が食べられる環境は岩倉市の特徴となっています。一方、農家数や農地面積が減っているなど、厳しい状況ですが、農業は、岩倉市の産業の、また都市イメージの大事な役割を果たしています。

魅力的な女王「クイーンレッド」

専業農家で、家族4人を含めて11人の従業員がいます。栽培しているのはトマト。年間を通して4種類のトマトを栽培していますが、主力商品は大王の魅力的な女王「クイーンレッド」(商標登録済み)です。

通常、栽培方法は苗を土に植える土耕栽培が一般的ですが、ここではビニールハウスの中で育てる施設栽培、水を利用した水耕栽培で育てています。「水耕栽培は土耕に比べて少し味が劣る」「使用する井戸水は地区によってその性質が異なるため、地区ごとの水に合った生育方法を行わないといけない」などの課題もありましたが、日夜改良を重ね、おいしいトマトができるようになりました。井上町にある作業所で、毎週月・水・金曜日の午後販売しています。

施設は水も室温も両方とも温度コントロールをしていますが、自宅から離れた施設で温度異常が発生した場合、携帯電話に連絡が届くようになっていました。一方、施設の中には、セイヨウオオマルハナバチと呼ばれている黒くて少し大型のハチを放ち、受粉交配をしており、収穫は一つ一つ丁寧に手作業で大切に行っています。

ここでは「ハイテク」と「アナログ」を使い分けながら、現代の農業を営んでいます。

農業 ゆうげんがいしゃ いのうえまさ ふな はしづ お 有限会社 井上政 (船橋哲夫)

〒482-0032 岩倉市井上町 422
TEL : 0587-37-3680



岩倉市の農産物の代表格「カリフラワー」

田中進さんは主にカリフラワーを作っています。従業員は家族4人。栽培方法は露地栽培です。

カリフラワーは年2回栽培しています。7月初旬に種まきして9月から収穫し出荷を開始するパターンと、同じ畑で空いた場所から2回目の種まきして3月から収穫し出荷を開始するパターンです。7月と8月だけはおきで、ほぼ周年栽培です。出荷は平均的には1日おきですが4月、5月は野菜の成長が早いので毎日行っています。年間での出荷量は約8千箱になります。8〜9個を箱に入れて出荷、1箱あたり8kgぐらいです。白いカリフラワーは太陽の日差しに当たると少し変色します。一般的には、それを防止するために葉っぱで全体をくるみ頭部を紐で縛るという作業を行います。ここでは何枚かの葉っぱの上部をベキッと頭頂側に折り曲げ、同様の効果を得ています。

カリフラワーと言えば白いものが一般的ですが、ここでは紫や黄色の「カラーもの」と言われるカリフラワーや、イタリア原産の黄緑色の色合いやユニークな突起のある形が魅力的な「ロマネスコ」という品種も育てています。いずれも3年前にはなかった品種です。

カリフラワー栽培がさらに広まるのが、岩倉市の魅力になると考え、挑戦を繰り返しています。

農業 たなかすすむ 田中進

〒482-0017 岩倉市北島町 1306
TEL : 0587-37-2881



岩倉市の新ブランド野菜「ちっチャイ菜」

父母の代から続く兼業農家で、夏ネギとして「長悦(ちようえつ)」、冬ネギとして「越津(こしづ)」、ホウレンソウや米、ちっチャイ菜を育てています。

「ちっチャイ菜」はチンゲン菜と白菜を掛け合わせたものです。岩倉に昔からある伝統野菜ではありませんが、市の特産物づくりの一環として5年前から取り組んでいます。

名鉄岩倉駅の改札前で開催している「野菜の広場」や市内の「産直センター」で販売されていますが、市民への認知度はまだ十分ではありません。また、現在栽培している農家は市内13軒で5年前から増えていないことも課題になっています。そのため「市民ふれ愛まつり」と同時開催の「農業フェア」で種の無料配布を行ったり、レシビを産直センターで無料配布したりしています。

また地元の小中学生に田植えや稲刈り体験をしてもらうことにも取り組んでいます。それは以前、玄米を子どもたちに見せたところ「こんな黒いのはお米ではない。うちのお米は白い」と言った子がいたからです。岩倉市には身近に「農地」という素晴らしい教材があります。子どもたちに野菜などの食べ物を作る楽しさ・大切さ・大変さ・ありがたさも知ってもらおう機会として開催しています。

農業 にわしろ 丹羽司朗

〒482-0002 岩倉市大市場町郷廻 175
TEL : 0587-66-3000



掲載事業所所在地図

窯業関係 / 油脂製造 / 機械・工業用品製造
石油製品・石炭製品製造 / 紙加工品製造
寝具製造 / 建築・建設 / 情報サービス

医療用品製造

クラフト・アパレル / 伝統産業

養鶏・卵加工

農業

小売・卸売



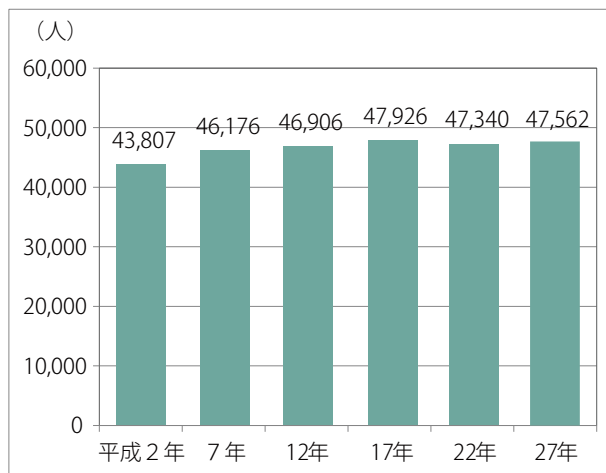
岩倉市産業基礎データ

人口

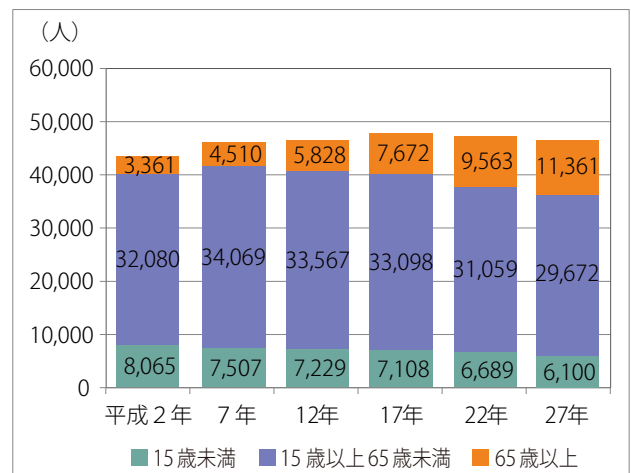
岩倉市の人口は平成 17 年まで増えていました。平成 17 年から平成 22 年にかけて約 600 人減りましたが、平成 22 年から平成 27 年にかけて再び微増しています。

また、「65 歳以上（高齢者）」は平成 2 年から増え続けていますが、「15 歳以上 65 歳未満」は平成 7 年以降、「15 歳未満」は平成 2 年以降、減り続けています。

人口の推移



年齢 3 区分別人口



※年齢 3 区分別人口は年齢不詳を除く

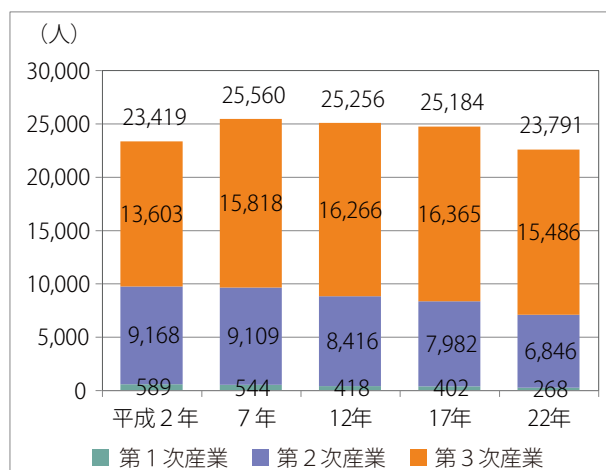
資料：国勢調査

働いている市民の数

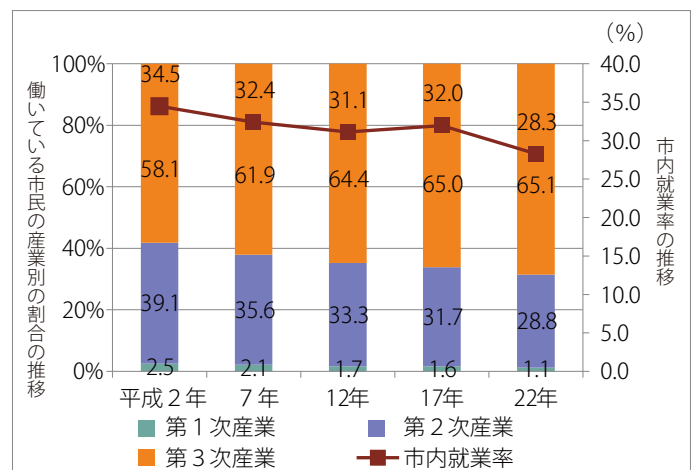
働いている市民の数は、平成 7 年から減り続けています。産業別にその構成割合をみると「第 3 次産業」の割合が増えており、「第 2 次産業」は減っています。

また、市内就業率は少しずつ減っており、平成 22 年に 28.3%となりました。

産業別働いている市民の数の推移



働いている市民の産業別の割合と市内就業率の推移



※第 1 次産業・・・「農業」、「林業」、「漁業」 / ※第 2 次産業・・・「鉱業」、「建設業」、「製造業」

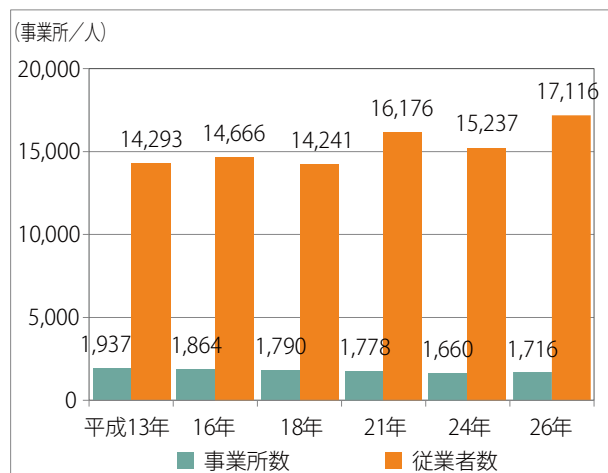
※第 3 次産業・・・前記以外の産業

資料：国勢調査

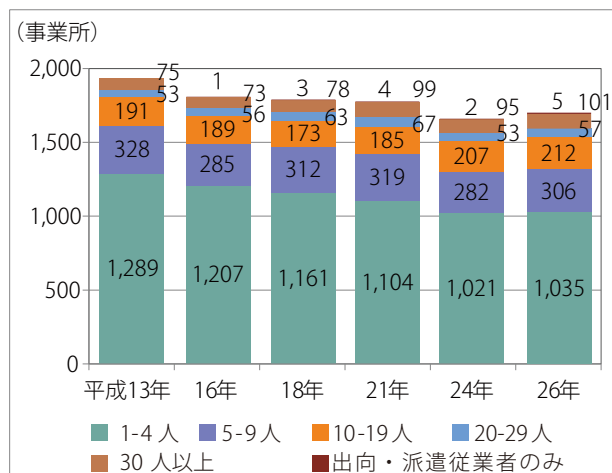
■ 事業所・従業員の状況

市内にある事業所数は減り続けていましたが、平成 24 年から平成 26 年にかけて増加し、現在、1,716 事業所となっています。減少を続けていた、従業員数が「1 - 4 人」の小さな事業所もわずかながら増えました。

事業所数及び従業員数の推移



従業員規模別事業所数の推移

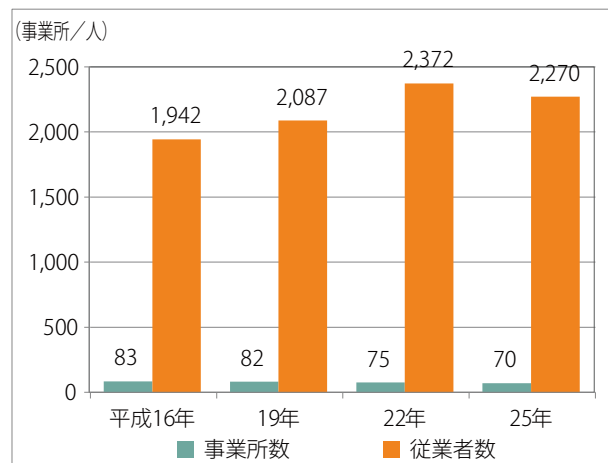


資料：平成 13.16.18 年は事務所・企業統計調査
平成 21.26 年は経済センサス基礎調査
平成 24 年は経済センサス活動調査

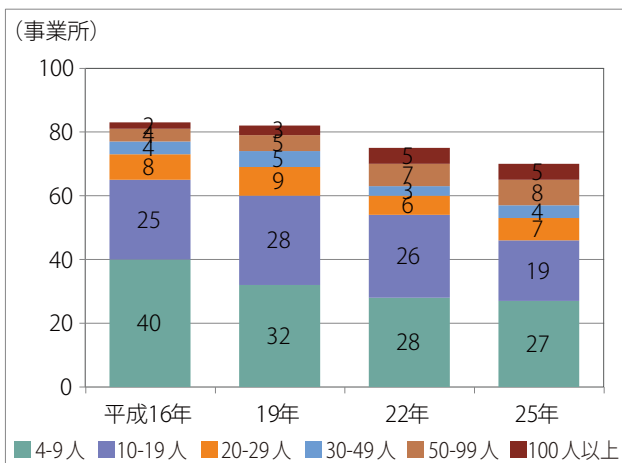
■ 製造業の状況

製造業の事業所は少しずつ減って、平成 25 年現在、70 事業所となっています。従業員数は増えたり減ったりしていますが、近年は約 2,300 人が製造業で働いています。

製造業の事業所数及び従業員数の推移



製造業の従業員規模別事業所数の推移

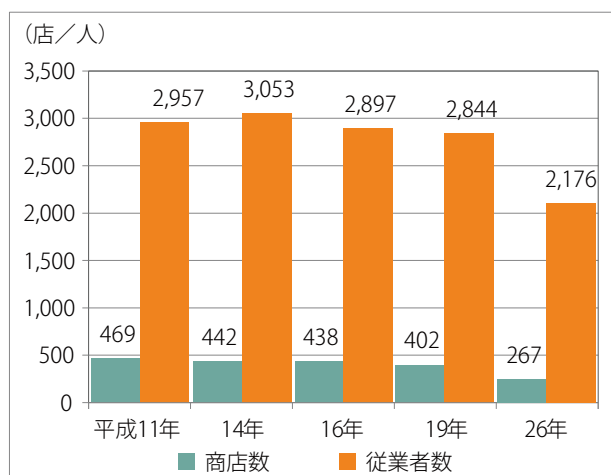


※1-3 人は集計していません。
資料：工業統計調査

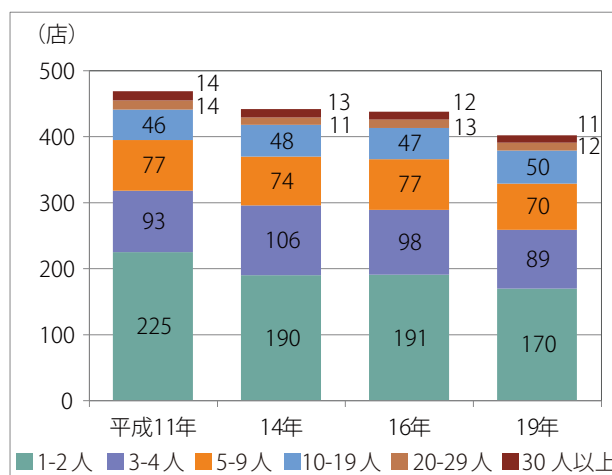
■ 商業の状況

商店数は平成9年から減り続けています。平成19年から平成26年にかけては、135店減少し、現在、267店となっています。
従業者数は平成14年まで増えていましたが、その後減りはじめ、
平成19年から平成26年にかけては、668人減少し、現在、2,176人となっています。

商店数及び従業者数の推移



従業者規模別商店数の推移

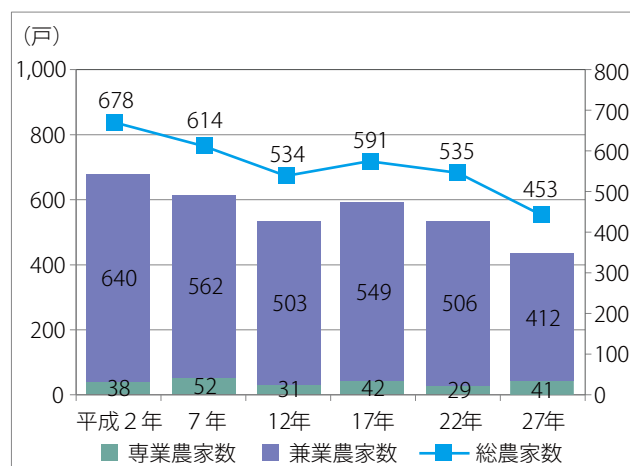


資料：あいちの商業

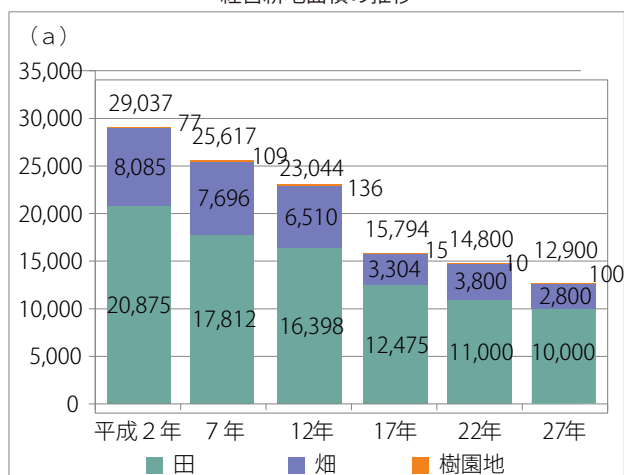
■ 農業の状況

農家数は増減を繰り返していますが、平成27年には、はじめて500戸を下回りました。
経営耕地面積は「田」「畑」とともに平成2年から減少傾向にあります。平成27年には12,900aとなっています。

専業・兼業別農家数の推移



経営耕地面積の推移



資料：農林業センサス

